



**ヤフー株式会社**  
**2013年度第2四半期**  
**決算説明会**

**2013年10月25日**

# 目次

## P.3 四半期業績総括

## P.23 事業の状況と取り組み

- － マーケティングソリューション事業
- － コンシューマ事業
- － 決済・金融 その他事業

## P.80 四半期業績 補足資料

本説明会および参考資料の内容には、将来に対する見通しが含まれている場合がありますが、実際の業績は様々な要素により、これら見通しと大きく異なる結果となりうることをご了承ください。会社の業績に影響を与える事項の詳細な記載は「平成25年3月期 決算短信」の「事業等のリスク」にありますので、ご参照ください。

ただし、業績に影響を与える要素は「事業等のリスク」に記載されている事項に限定されるものではないことをご注意ください。

本資料・データの無断転用はご遠慮ください。

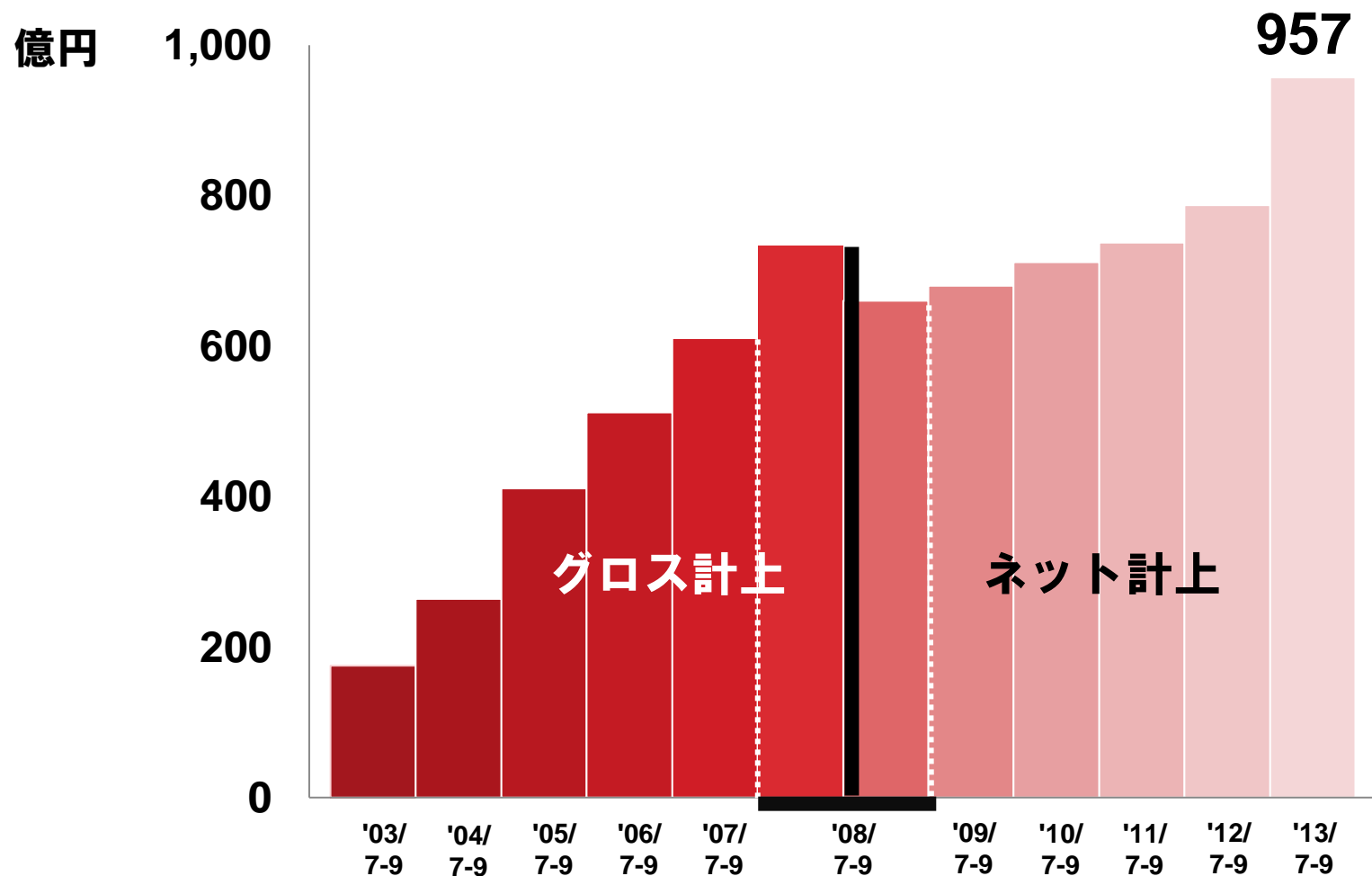
# 2013年度第2四半期 業績総括

## 4四半期連続の2桁成長を達成

単位:億円

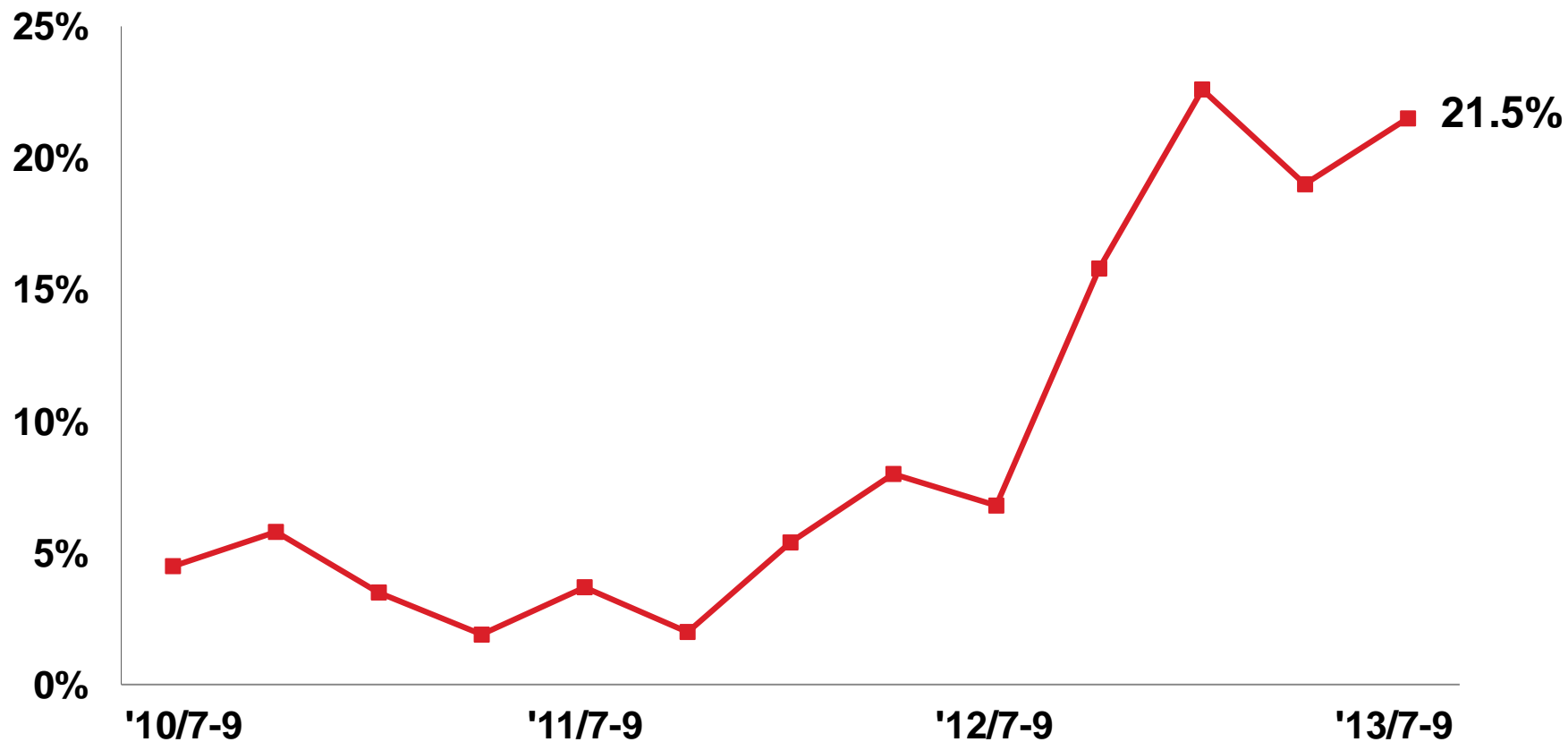
	2012年度 第2四半期	2013年度 第2四半期	前年 同四半期比	増減要因
<b>売上高</b>	<b>787</b>	<b>957</b>	<b>21.5%</b>	・広告売上高の増加 ・プレミアム会員費収入の増加 ・子会社の増加による売上高の増加
<b>営業利益</b>	<b>432</b>	<b>492</b>	<b>13.7%</b>	子会社の増加による費用の増加
<b>経常利益</b>	<b>439</b>	<b>491</b>	<b>11.7%</b>	持分法投資損失の発生
<b>四半期純利益</b>	<b>271</b>	<b>303</b>	<b>11.8%</b>	—

# 四半期売上高推移

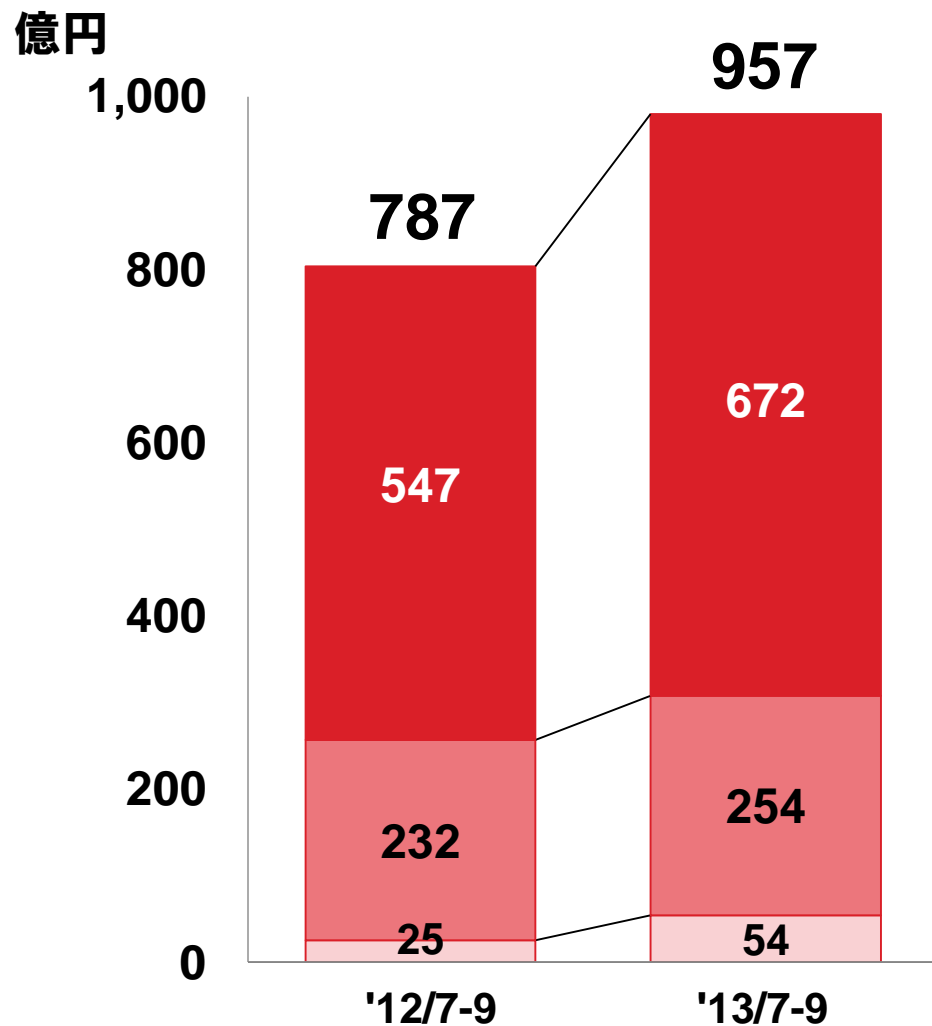


2008年度より、売上原価および販管費の一部の科目を差し引いた売上高のネット表示を行っています。  
そのため、2008年7-9月期のグロス表示は参考値です。

# 四半期売上高 成長率推移(YOY)



# 四半期売上高構成



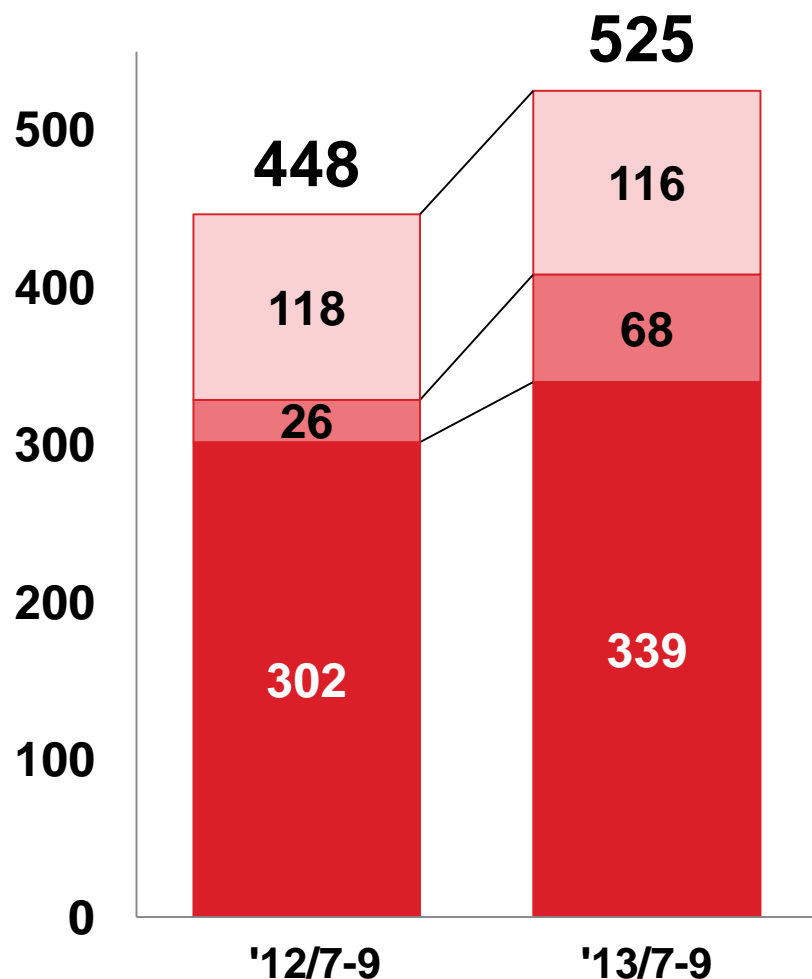
**合計 +169億円  
+21.5%**

- マーケティングソリューション事業 +22.9%**  
広告売上高増加
- コンシューマ事業 +9.6%**  
プレミアム会員費収入の増加
- その他 +108.5%**  
FX事業の開始

調整額を表示していません。

# 四半期売上高 広告関連

億円



合計 +76億円  
+17.2%

ディスプレイ広告 +27.4%

プレミアム広告 -1.7%

「ブランドパネル」以外の広告が軟調

YDN等 +156.7%

「Yahoo!ディスプレイアドネットワーク」好調

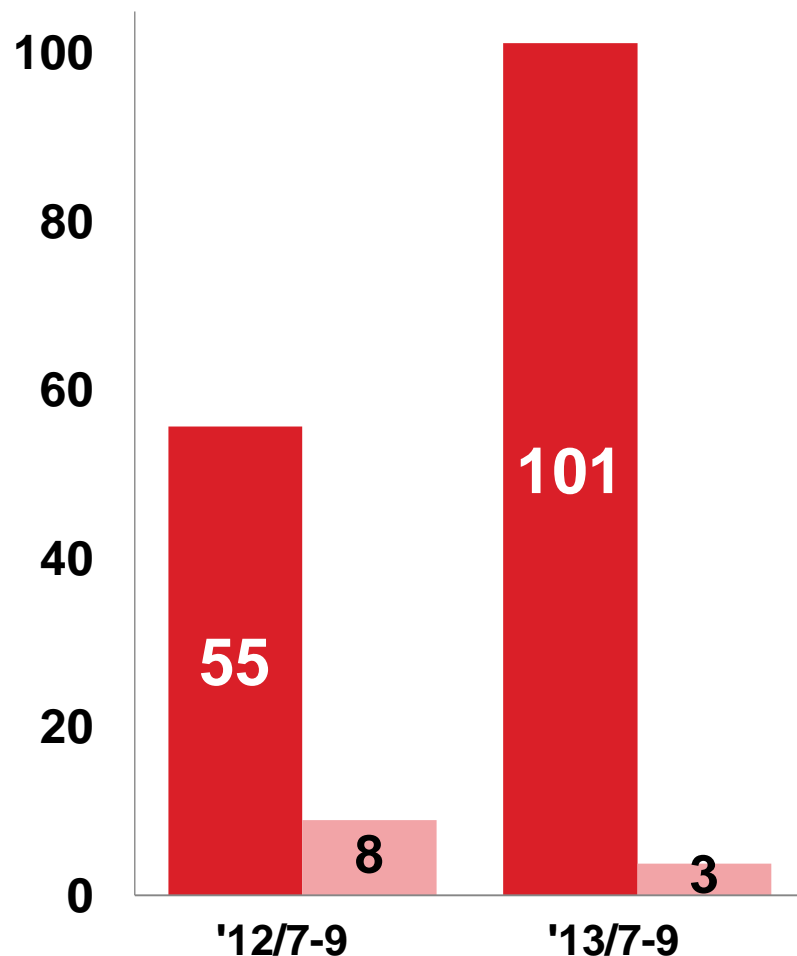
検索連動型広告

「スポンサードサーチ」 +12.3%

スマートフォン経由の広告伸長

# 四半期売上高 モバイル広告

億円



■ **スマートフォン売上高**  
**+45億円**

スマートフォン売上高比率

**12.5%→19.3%**

※スマートフォン売上高には一部タブレットの売上高を含みます。

■ **フィーチャーフォン売上高**  
**-5億円**

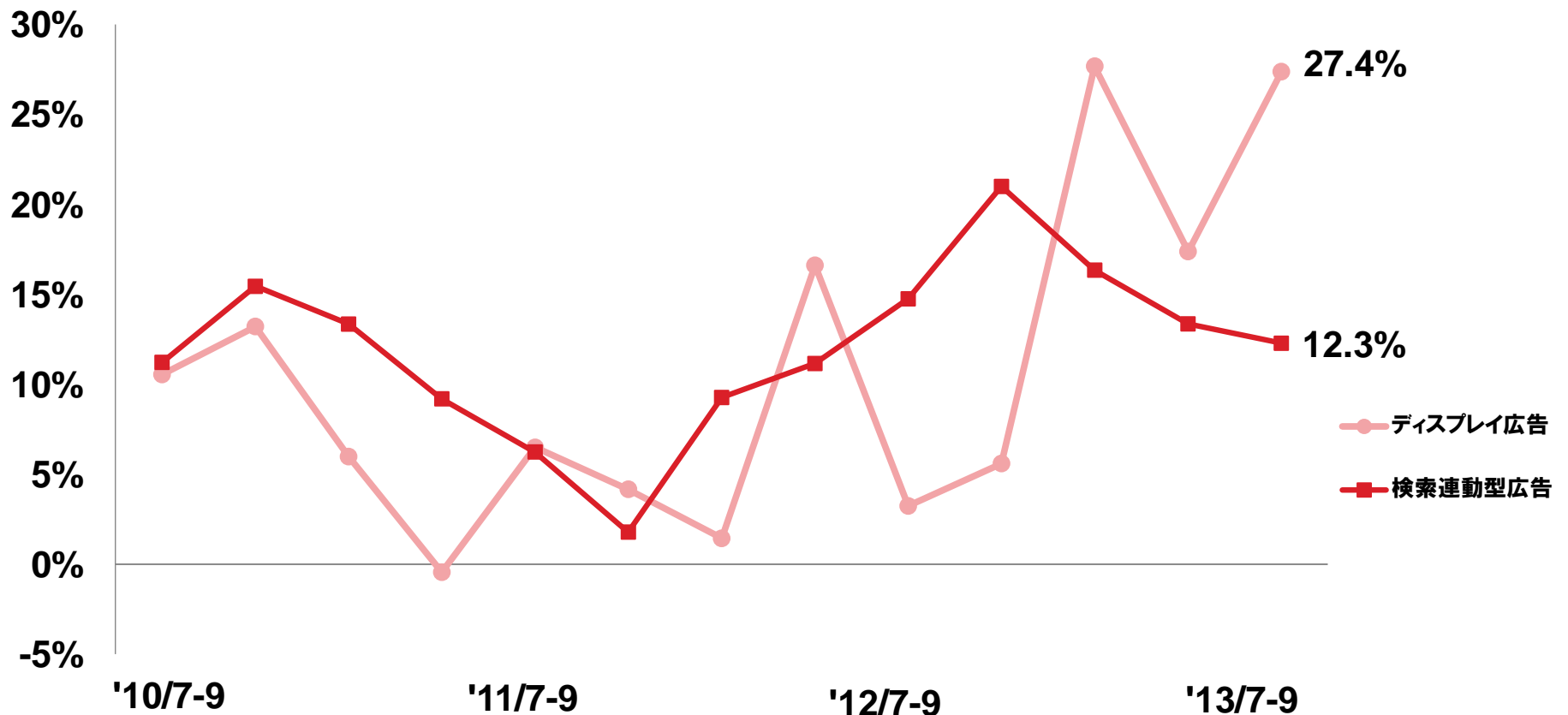
フィーチャーフォン売上高比率

**2.0%→0.7%**

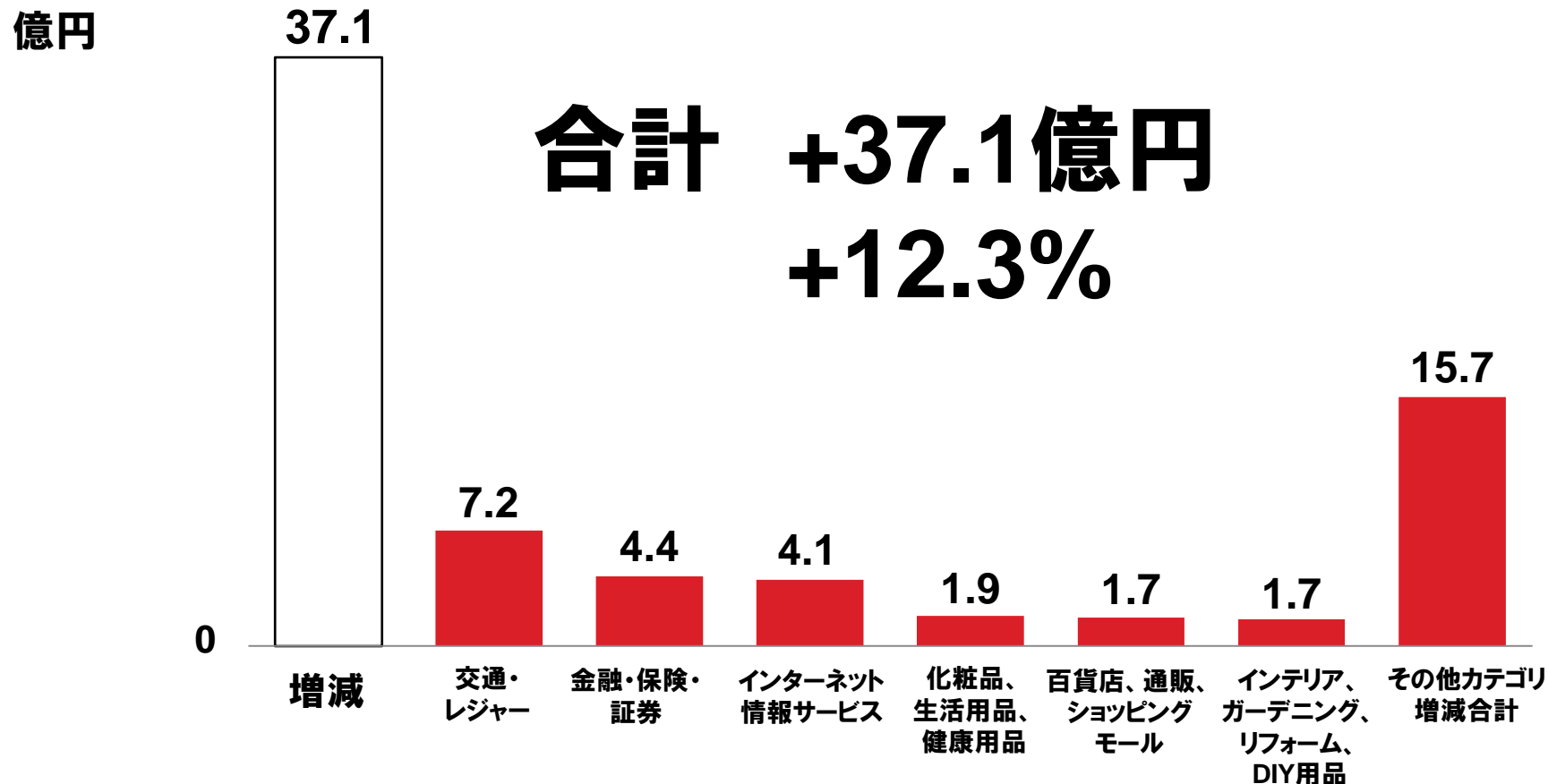
より正確な金額の算定が可能になったため、過去分についても遡及して修正しております。



# 四半期広告関連売上高 成長率推移(YOY)



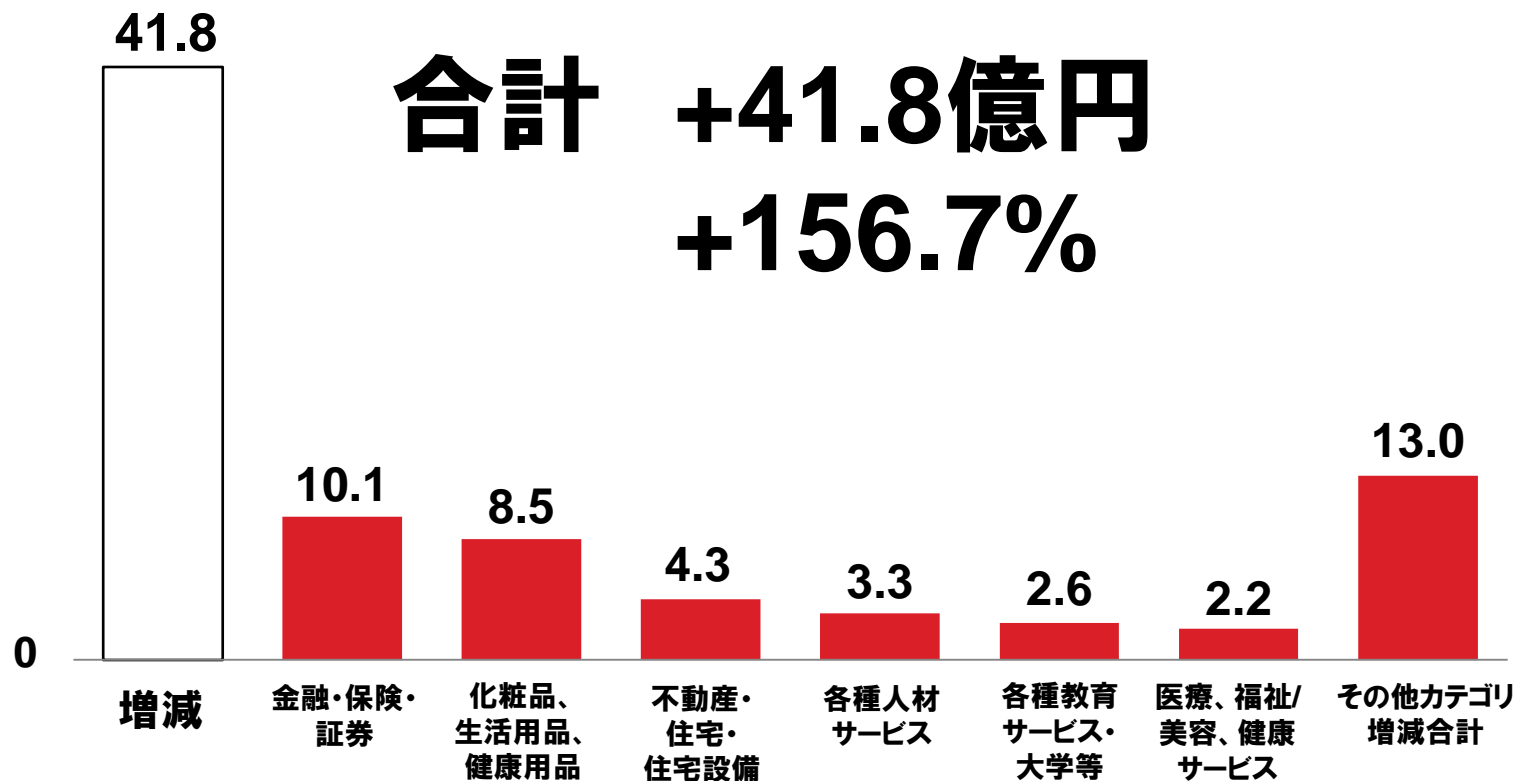
# 検索連動型広告 業種別増減要因(YOY)



一部売上高は業種分類されていないため、各業種別の増減額の合計と全体の増減額は一致しません。

# YDN等 業種別増減要因(YOY)

億円

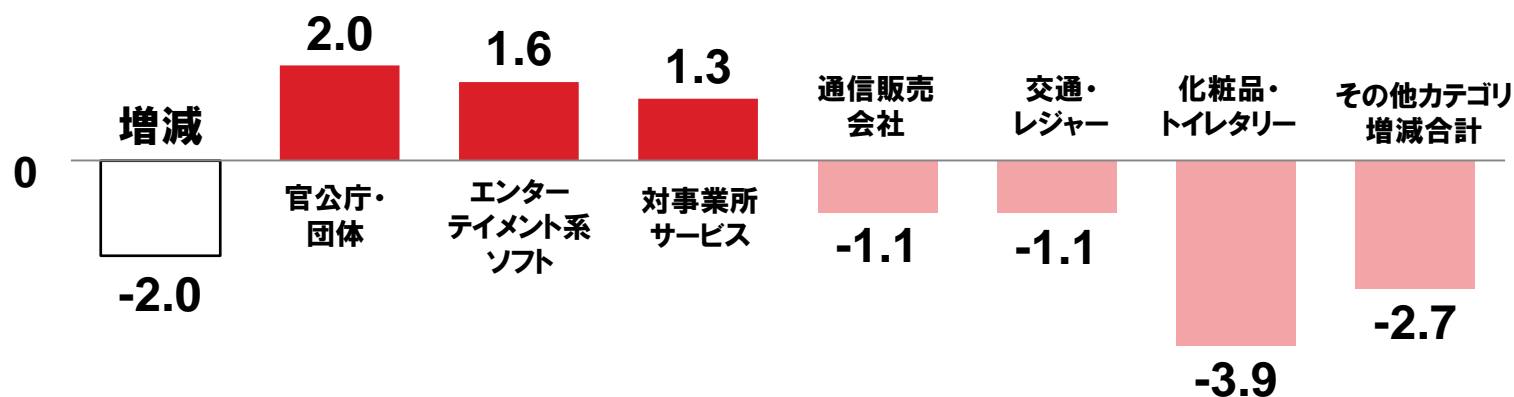


一部売上高は業種分類されていないため、各業種別の増減額の合計と全体の増減額は一致しません。

# プレミアム広告 業種別増減要因(YOY)

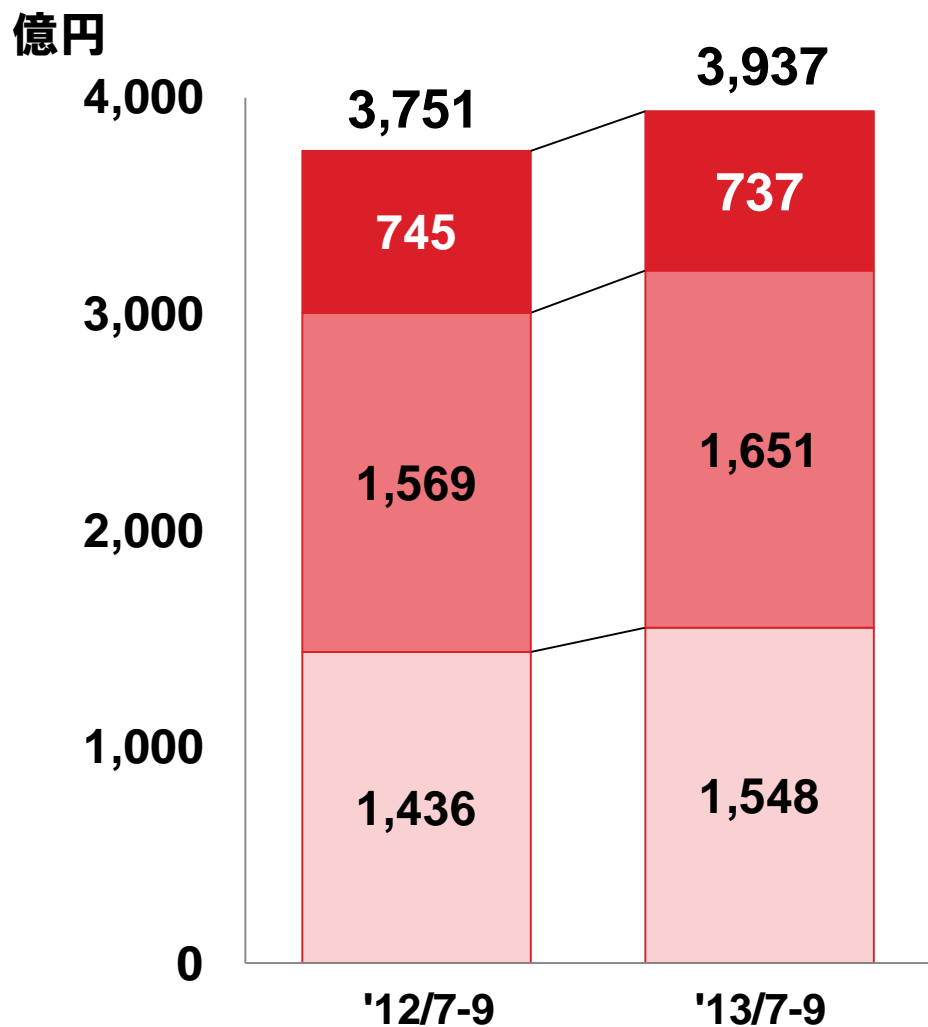
億円

合計 -2.0億円  
-1.7%



一部売上高は業種分類されていないため、各業種別の増減額の合計と全体の増減額は一致しません。

# 四半期eコマース取扱高



合計 +185億円  
+4.9%

■ ショッピング関連事業 -1.1%  
前年同四半期比横ばい

■ オークション事業 +5.2%  
前年同四半期比増加

■ その他取扱高 +7.8%  
(決済・金融、有料デジタルコンテンツ等)  
ウォレット取扱高増加、  
有料デジタルコンテンツ好調

※FX事業の取扱高は含まれておりません。

スマートフォン経由比率

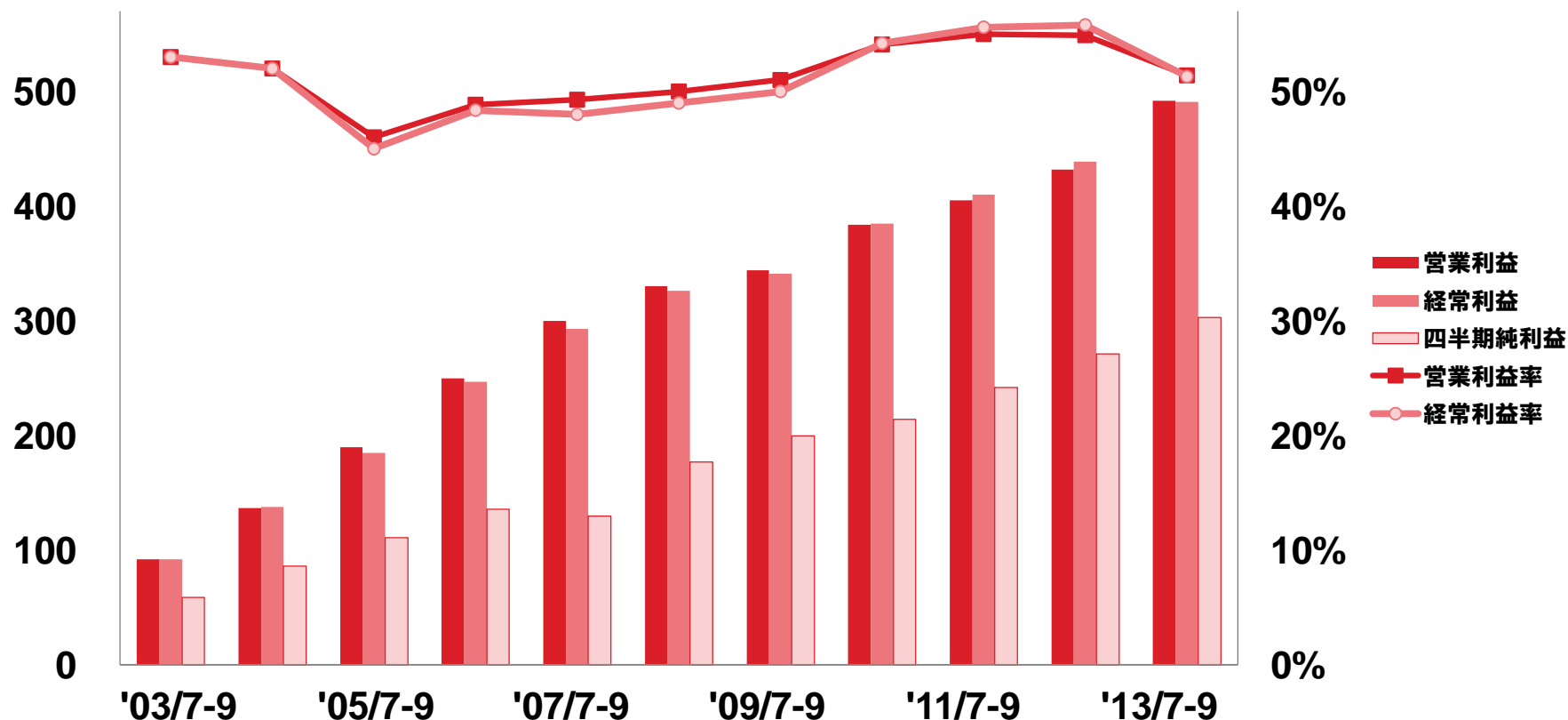
19.4%→26.8%

(ショッピング関連、オークション)

より正確な金額の算定が可能になったため、過去分についても遡及して修正しております。

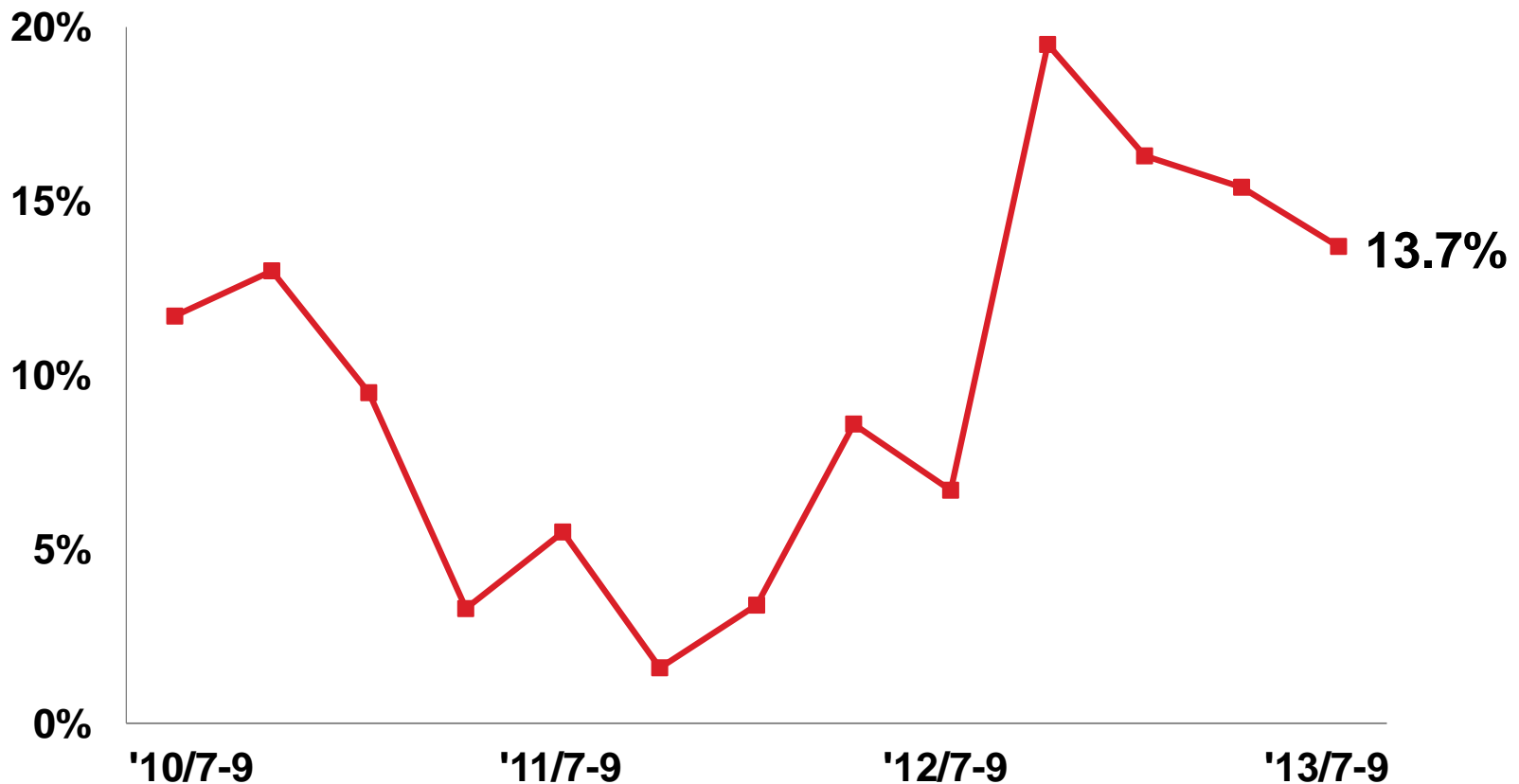
# 四半期利益推移

億円



2008年7-9月以降の各利益率は売上高をネット表示に変更したことによる影響を受けています。

# 四半期営業利益 成長率推移(YOY)



# 2013年度上半期レビュー

すべての項目で見通しを上回った

単位:億円

	2013年度 上半期見通し (7月25日時点)	2013年度 上半期実績	差異分析
売上高	1,858	1,880	広告関連売上高の増加
営業利益	956	978	-
経常利益	959	981	-
上半期純利益	612	626	-



# 2013年度下半期見通し

## eコマース新戦略による一時的な減益を見込む

単位:億円

	2012年度 下半期 (実績)	2013年度 下半期 (見通し)	増減率	増減要因
売上高	1,866	1,991	6.7%	・広告関連売上高の増加 ・eコマース関連売上高減少
営業利益	1,009	951	-5.7%	eコマース新戦略による 販売促進費等の増加
経常利益	1,019	953	-6.4%	-
下半期純利益	628	583	-7.1%	-

# 2013年度通期見通し

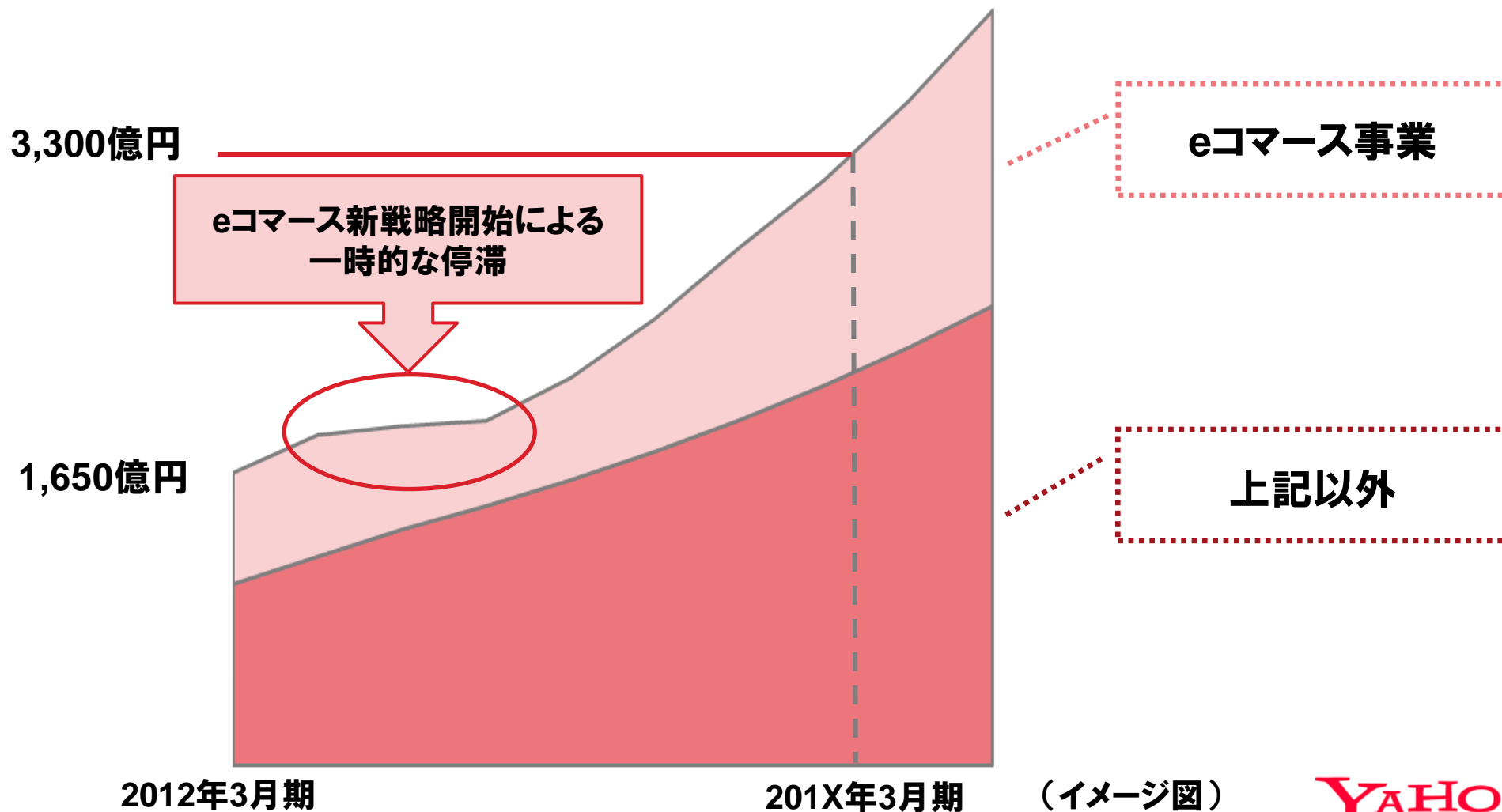
## 2013、14年度の通期の営業利益成長率は 1桁前半となる見込み

単位:億円

	2012年度 通期 (実績)	2013年度 通期 (見通し)	増減率	増減要因
<b>売上高</b>	<b>3,429</b>	<b>3,871</b>	<b>12.9%</b>	・広告関連売上高の増加 ・会員費収入の増加 ・eコマース関連売上高減少
<b>営業利益</b>	<b>1,863</b>	<b>1,930</b>	<b>3.6%</b>	eコマース新戦略による 販売促進費等の増加
<b>経常利益</b>	<b>1,886</b>	<b>1,935</b>	<b>2.6%</b>	-
<b>当期純利益</b>	<b>1,150</b>	<b>1,209</b>	<b>5.2%</b>	有価証券売却益の発生

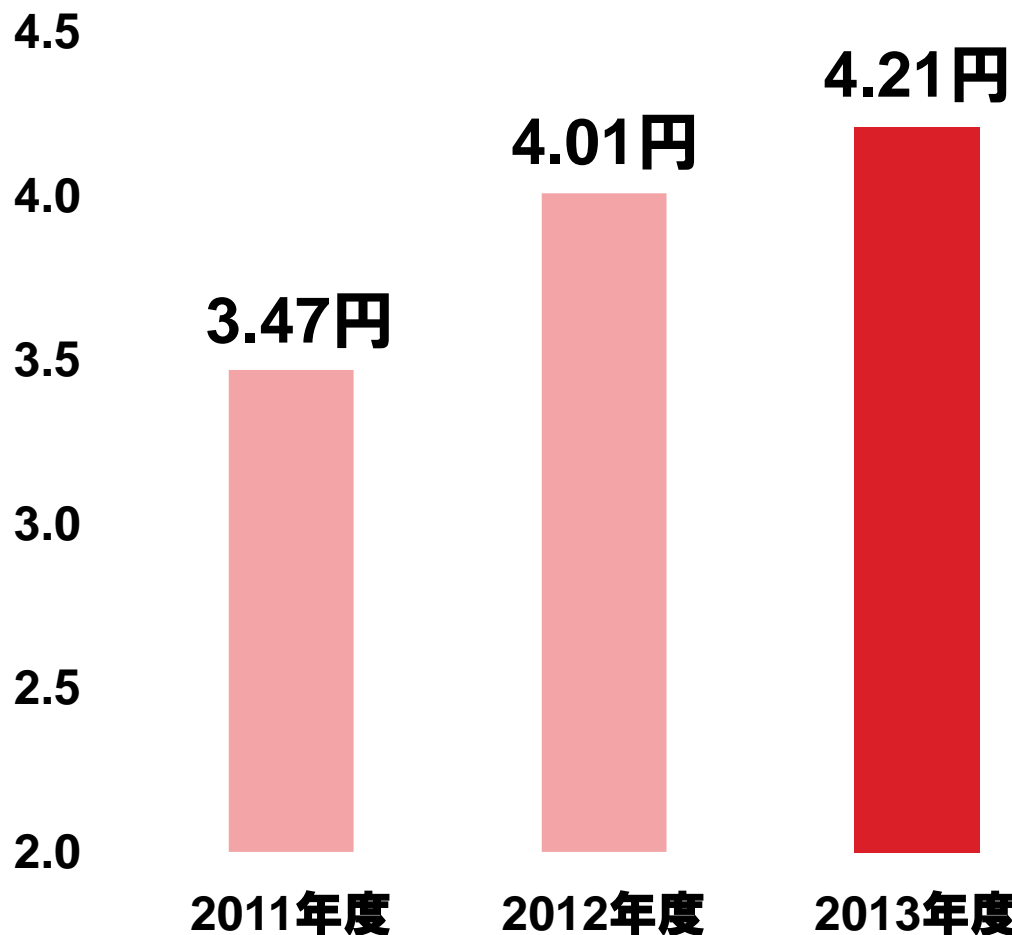
「2013年度通期見通し」は、2013年度上半期の実績累計値に下半期の見通しを加算した概算値です。

# 201X年3月期の 営業利益2倍達成の目標は堅持



# 2013年度 期末配当見通し

1株当たり配当金  
単位:円



1株当たり配当金は  
前年度比  
**5.0%増**の見通し

配当性向は  
連結当期純利益の  
約**20%**を予定

# 業績コミットメント型 ストックオプションの発行

201X年3月期までに営業利益を2倍にすることが  
権利行使の条件となるストックオプションを  
経営幹部に付与(合計 286,250個)

ただし、国内eコマース流通総額No.1にならないと50%  
しか行使できない



業績目標、eコマース新戦略の達成にコミットし、  
業績向上への士気や貢献意欲を高める

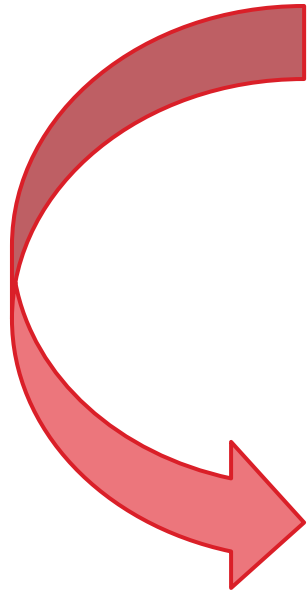
# 自己株式の取得

取得価額総額(上限)	300億円
取得株式総数(上限)	6,000万株
取得期間	2013年10月28日 ~2014年1月31日

**市場から買い付け、  
取得した株式は全て消却する予定**

# マーケティング ソリューション事業

**サービスによる  
集客**



**広告による  
収益化**





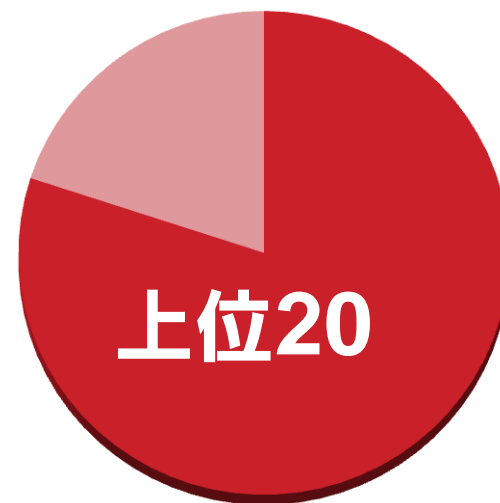
# サービスの状況

# Yahoo! JAPANの上位20サービスが トラフィック・売上高の大部分を創出

トラフィック

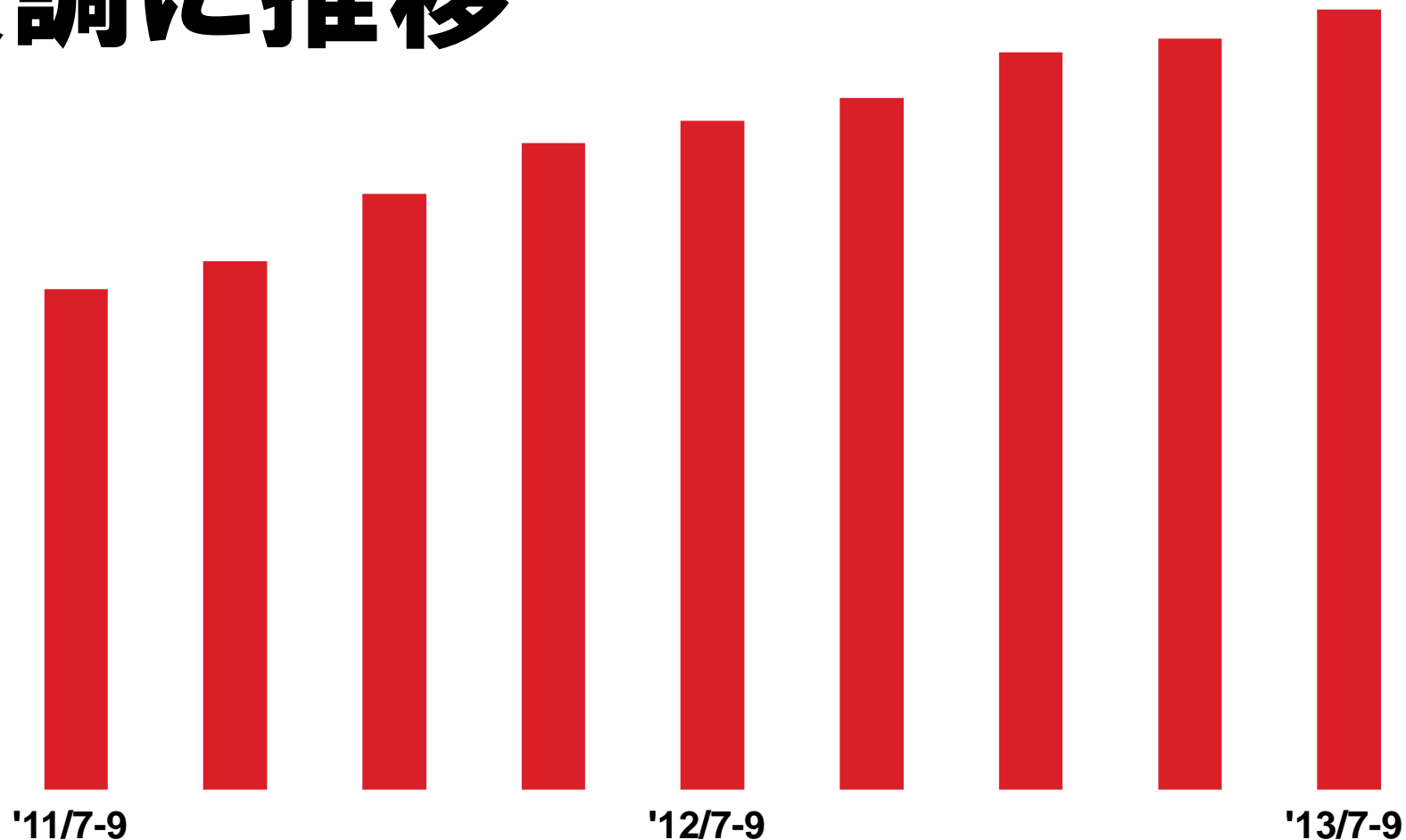


売上高



(イメージ図)

# 上位20サービスのDUBが 順調に推移



出典:ヤフー(株)社内データ

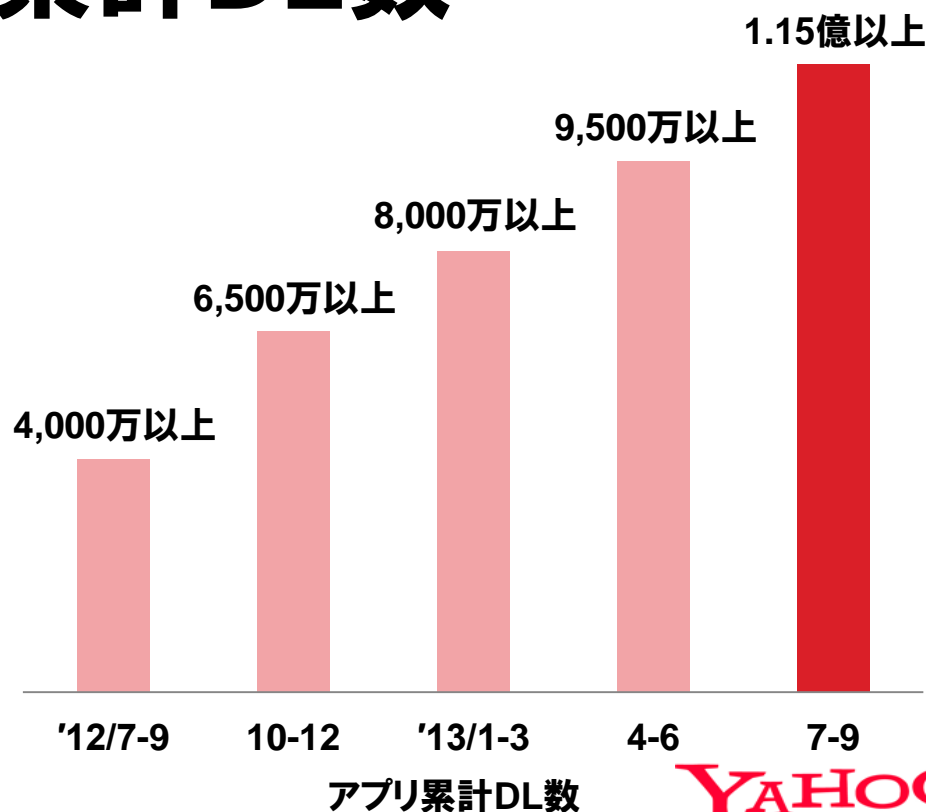
\*DUB=Daily Unique Browser

# アプリ累計ダウンロード数は順調に拡大

## iOS+Androidアプリ累計DL数

# 1億DL達成

Apple iOS・Android向けアプリ例



# 利用度向上のための 取り組み

# 「Yahoo!検索」と連携した Famiポートクーポンの提供を開始



**Yahoo!検索で「ファミリーマート」と検索すると、全国のファミリーマートで使えるお得なクーポンがもらえる!**

クーポンのご利用はファミリーマート店内の「**Famiポート**」で簡単発券!

▼ 発券方法はコチラ

---

ウェブ 画像 動画 辞書 知恵袋 地図 リアルタイム 一覧

検索履歴: ファミリーマート

検索結果: 1712,400,000件

絞り込みツール

Q ファミリーマート店舗 ファミマカード ファミリーマートバイト

※ここにクーポンコードが記載されます

このクーポンコードをFamiポートで入力(ファミマけんさくーぽん)

ファミリーマートで使えるお得なクーポンプレゼント中! 左上の発券用番号をFamiポートで入力して「Sweets+ジェラート各種1ずつ 30円未満商品」を7/10ご利用期間(8月9日(金)まで、左上のクーポン発券用番号をFamiポートで入力してください)

詳しいクーポン情報、その他のクーポン、クーポンコードの使い方

**ファミリーマート**

あなたと、コンビニ、ファミリーマート公式ウェブサイト、新商品、キャンペーン、ファミポートなど店舗サービスをご紹介。店舗検索やファミマカード、社会貢献活動、企業情報も掲載。

www.family.co.jp

- 店舗検索
- ファミマカード
- メニュー&メニュー
- 商品情報
- 店舗情報
- 発券サービス

**ファミリーマート - Wikipedia**

株式会社ファミリーマート（英: FamilyMart Co., Ltd.）は、日本に本社を置くコンビニエンスストアフランチャイザーである。「ファミリーマート」の屋号を用い、東アジア・東南アジアを中心にフランチャイズ展開している。略称は「ファミマ」で、コーポレート・スローガンは「...



ウェブ リアルタイム 一覧

検索: ファミリーマート

検索結果: ファミリーマート店舗, ファミマカード, ファミリーマートバイト

※ここにクーポンコードが記載されます

このクーポンコードをFamiポートで入力(ファミマけんさくーぽん)

ファミマでファミリーマートで使えるお得なクーポンプレゼント! Sweets+ジェラート各種30円割引!

左上のクーポン発券用番号をFamiポートで入力してください

詳しいクーポン情報、その他のクーポン、クーポンコードの使い方

**ファミリーマート**

あなたと、コンビニ、ファミリーマート公式ウェブサイト、新商品、キャンペーン、ファミポートなど店舗サービスをご紹介。店舗検索やファミマカード、社会貢献活動、企業情報も掲載。

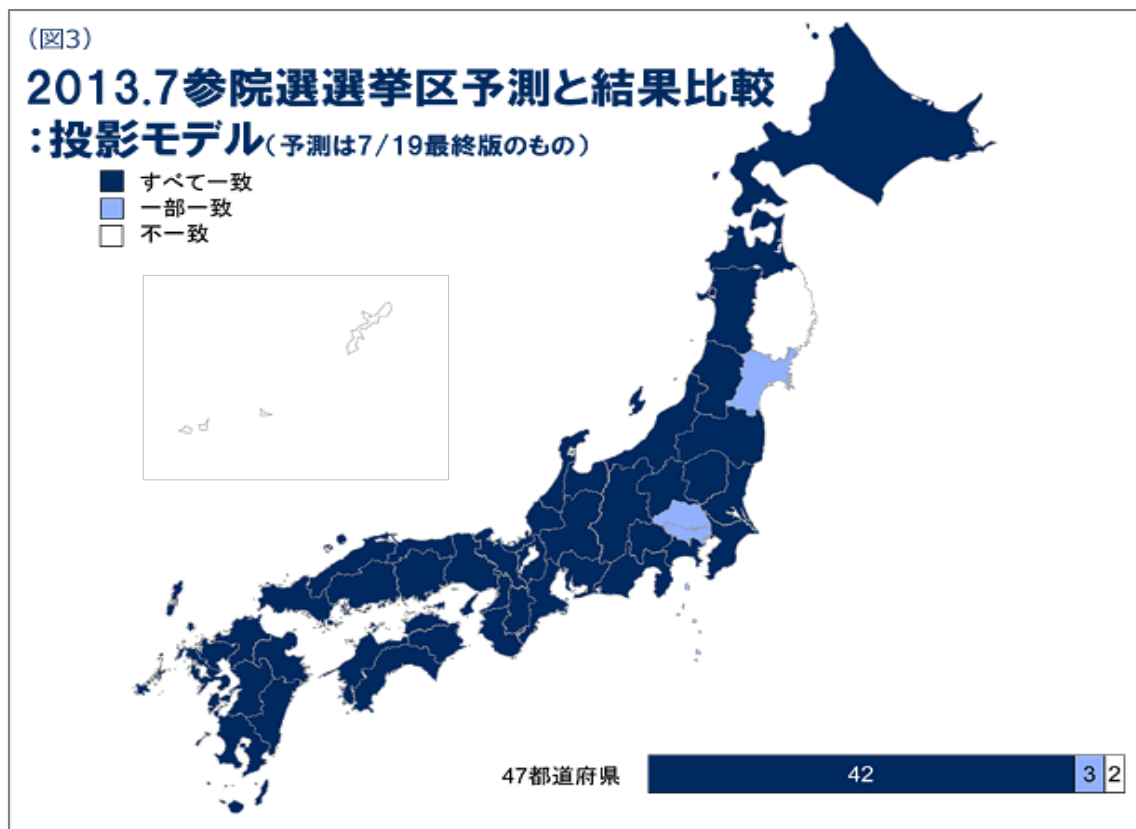


# 「Yahoo!ブラウザ」



- 利用者数**100万人突破**
- Google Playのブラウザランキングで7週連続1位
- 閲覧中のページを音声で読み上げる機能を提供開始（音声アシスト連携）

# 「Yahoo! JAPAN ビッグデータレポート」 参院選における 与野党の獲得議席数が的中

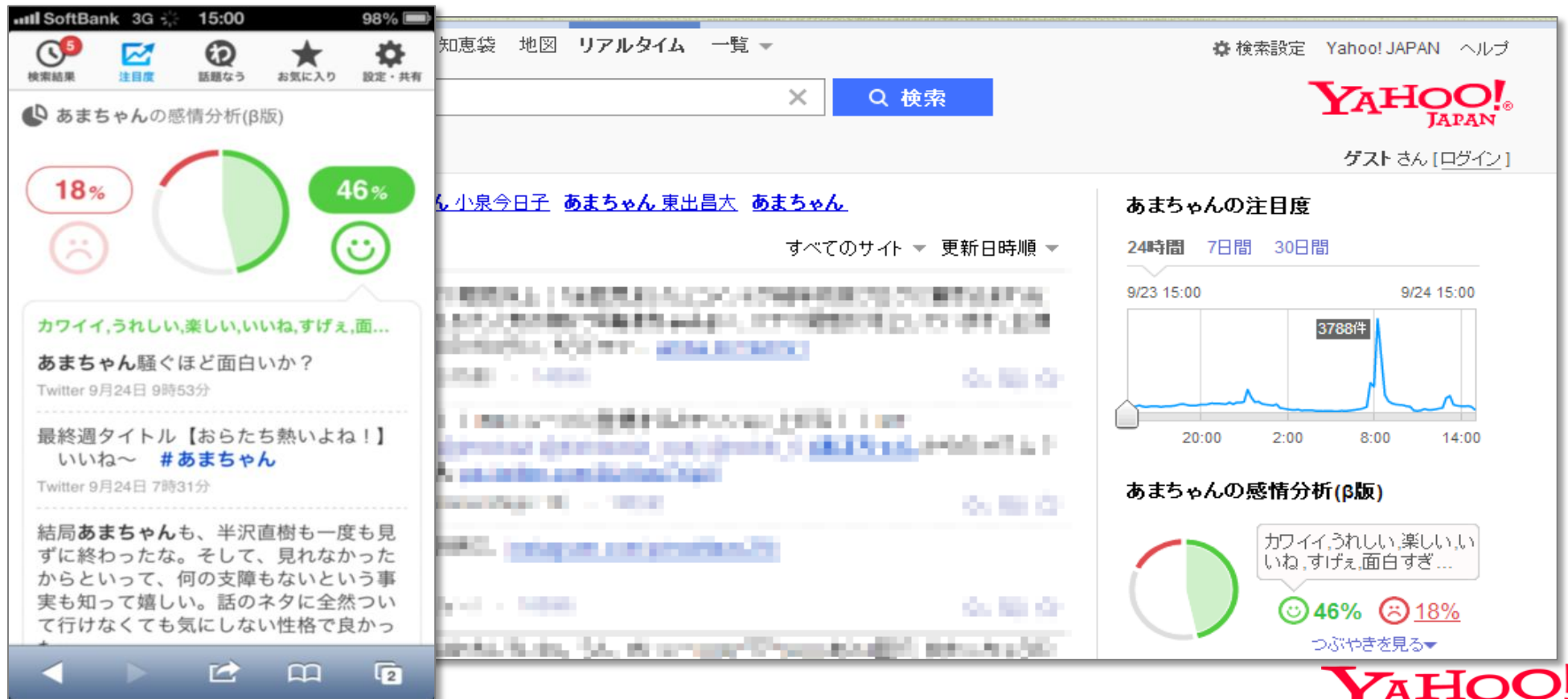


都道府県別でも  
42道府県で  
当選政党が  
すべて一致



# リアルタイム検索で「つぶやき感情分析(β版)」を提供

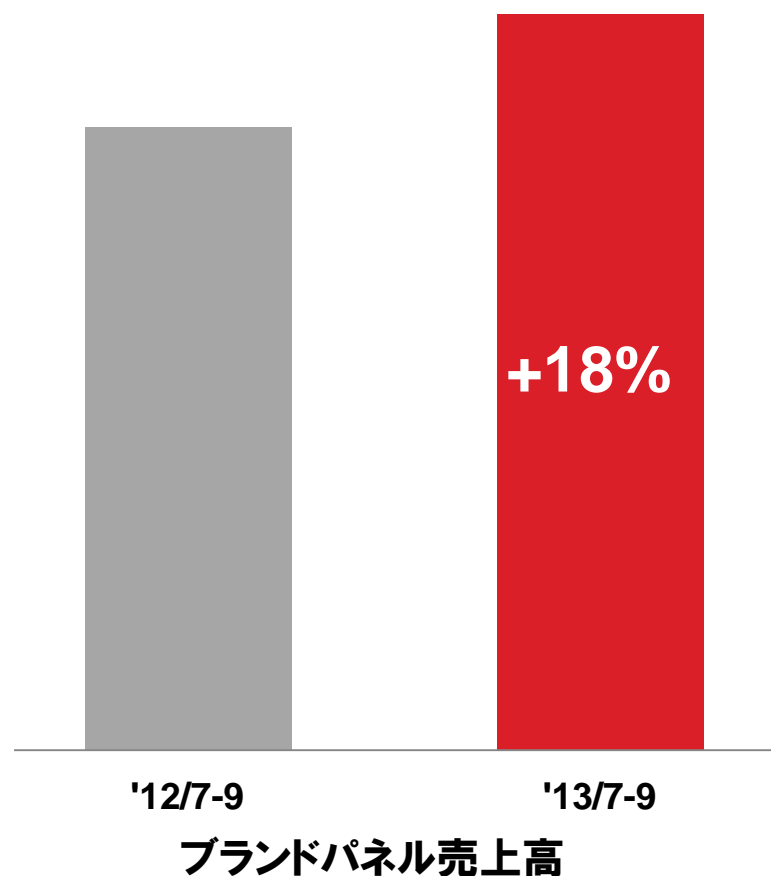
Twitter上のつぶやきを解析し、検索したキーワードの印象を“ポジティブ”“ネガティブ”“ニュートラル”の割合グラフで表示



# 収益性向上のための 取り組み

# ディスプレイ広告

# 「ブランドパネル」(PC)の 売上高が引き続き増加

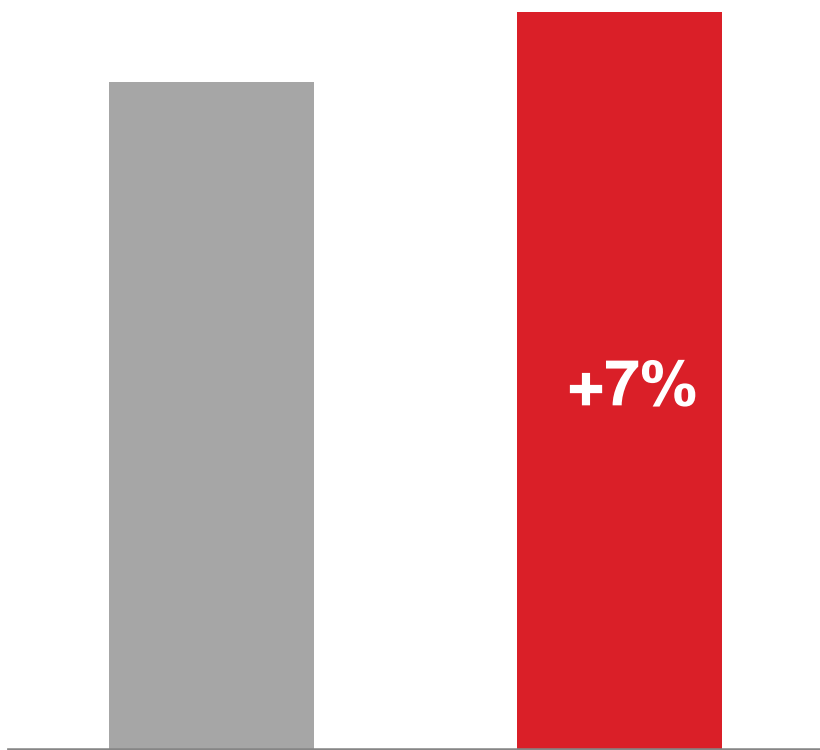


リッチアドの販売が拡大

リッチアド売上高比率\* **29%**

※「ブランドパネル」全体に占めるリッチアド売上高の割合

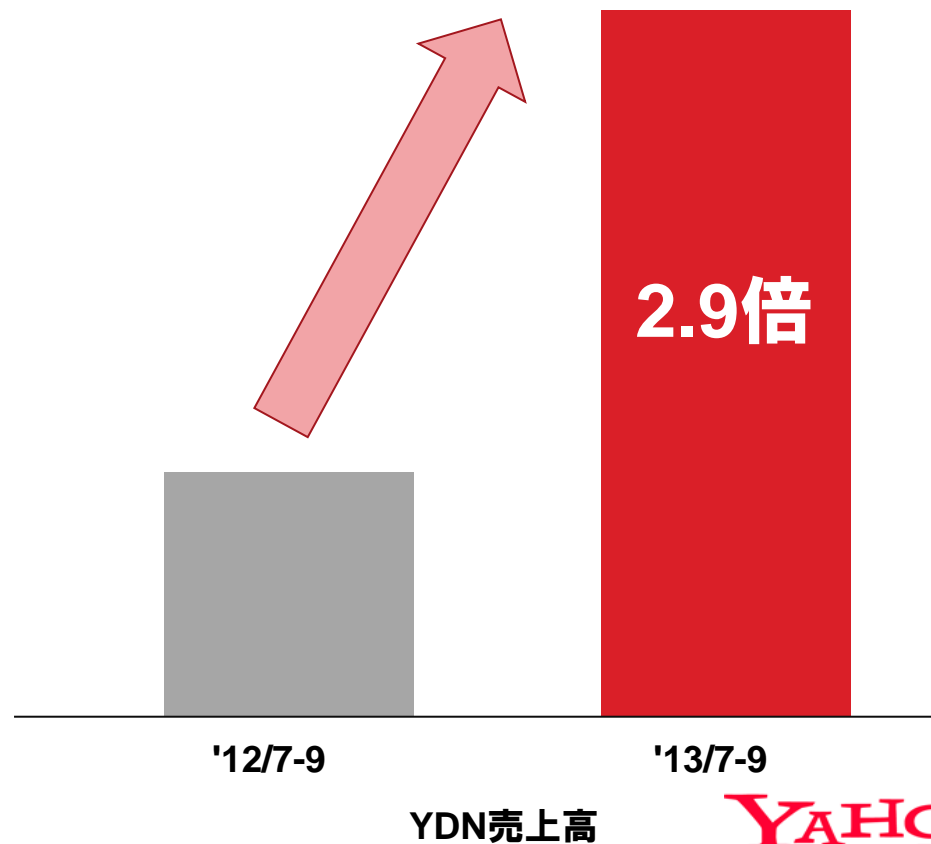
# プライムディスプレイ枠へのYDN 配信により掲載枠の収益性が向上



'12/7-9                      '13/7-9  
プライムディスプレイ枠の売上高

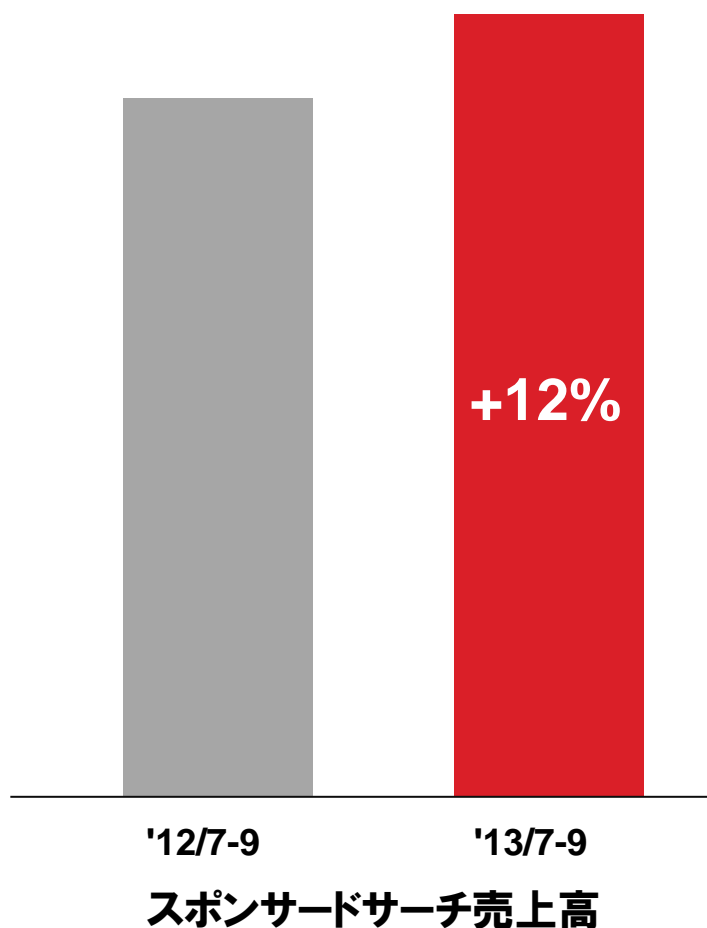


# YDNの売上高は約3倍に



# 検索連動型広告

# 「スポンサードサーチ」売上高 引き続き好調

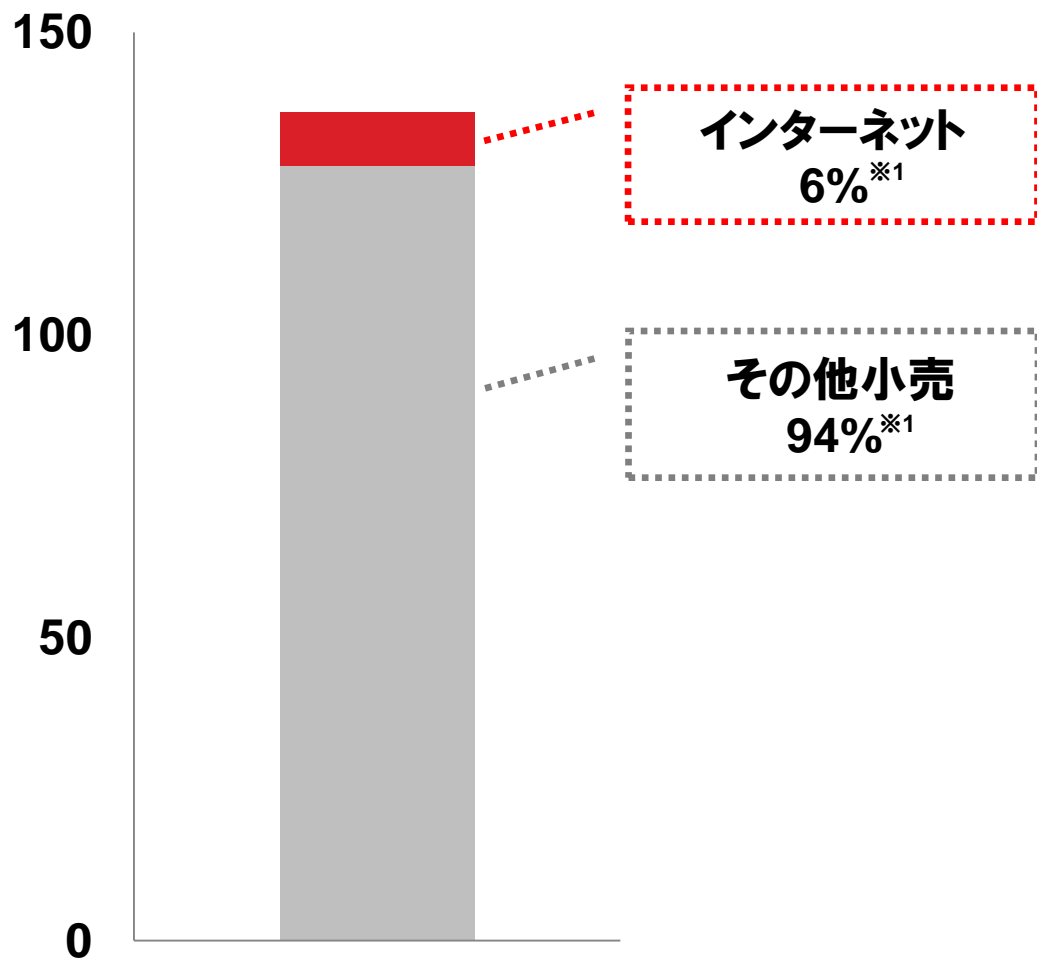




# コンシューマ事業

# 日本のeコマース市場は 小売市場全体の約6%にすぎない

兆円

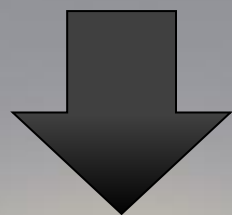


2011年度  
eコマース市場規模  
約8.8兆円<sup>※2</sup>

※2 出典：(株)野村総合研究所「ITナビゲーター2013」より。  
BtoC EC市場規模

※1 出典：(株)野村総合研究所「ITナビゲーター2013」より。BtoC EC市場規模をもとに算出  
経済産業省 商業動態統計調査より。小売業販売額をもとに算出

**国内eコマース市場を  
拡大する**



**eコマース革命**

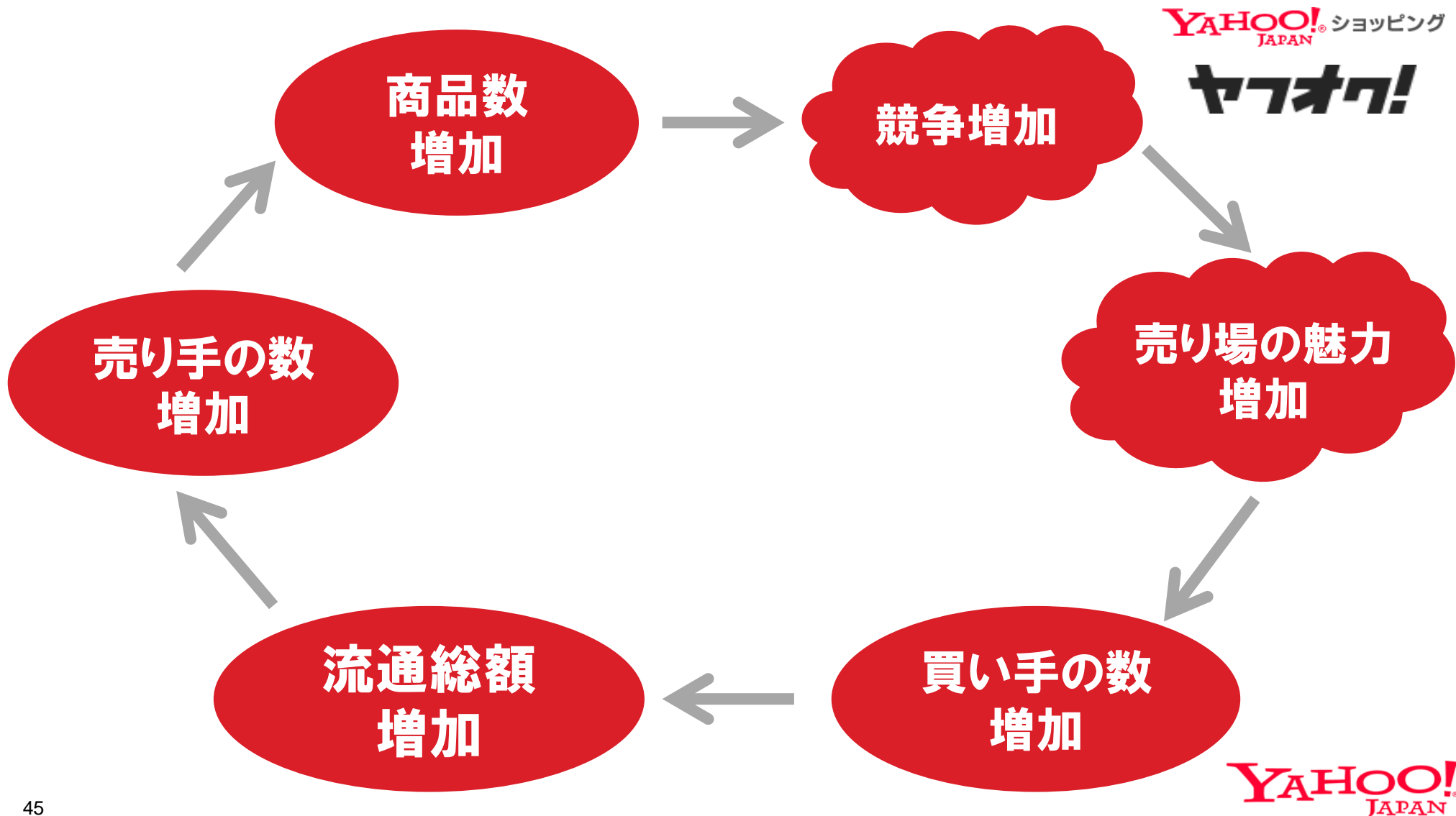
拡大した

国内eコマース市場の中で

**流通総額No.1**を目指す

※ショッピング関連事業およびオークション事業取扱高の合計

# eコマースのエコシステムを創る



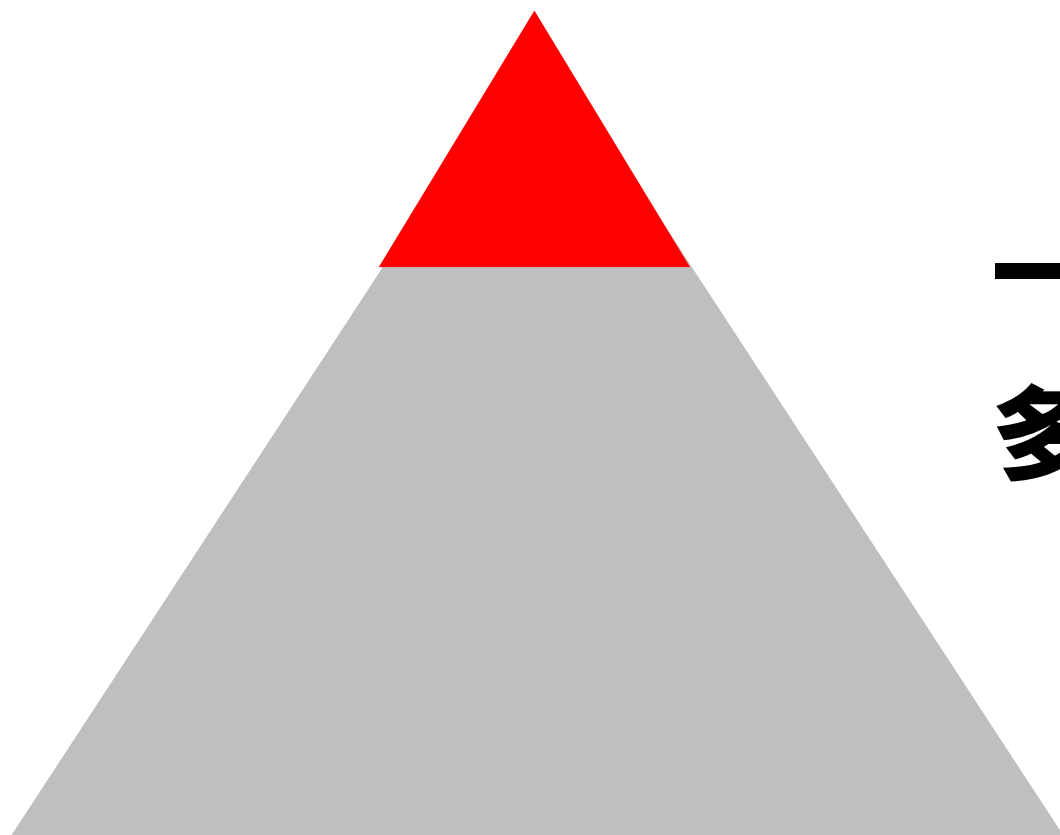
**Yahoo!ショッピング**

**ヤフオク!**

**プレミアム会員**

# 手数料ビジネスから 広告ビジネスへ

# 広告モデルのイメージ図

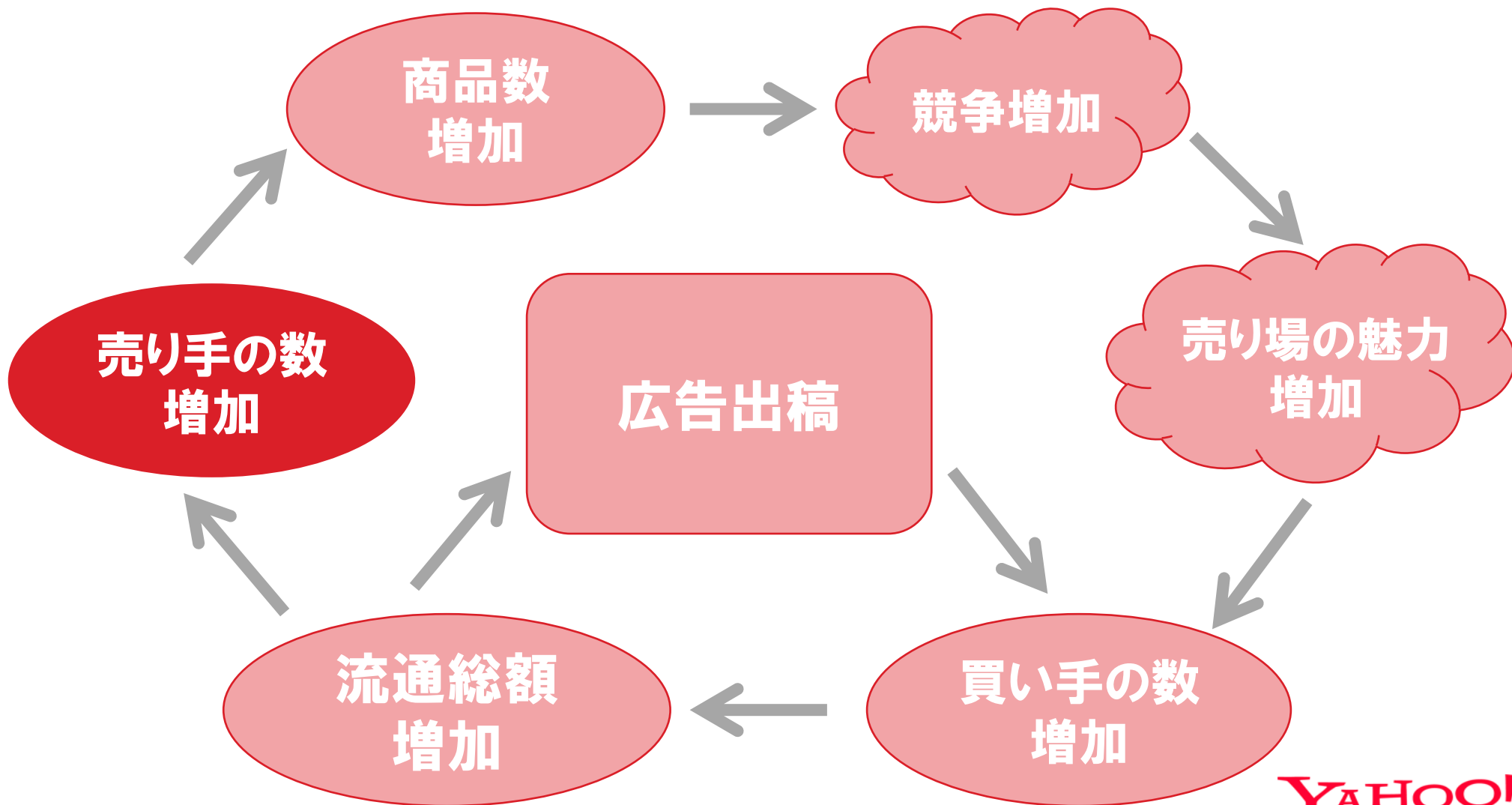


一部の有料参加者  
多数の無料参加者

(売り手全体におけるイメージ)



# エコシステムのスイッチは売り手から



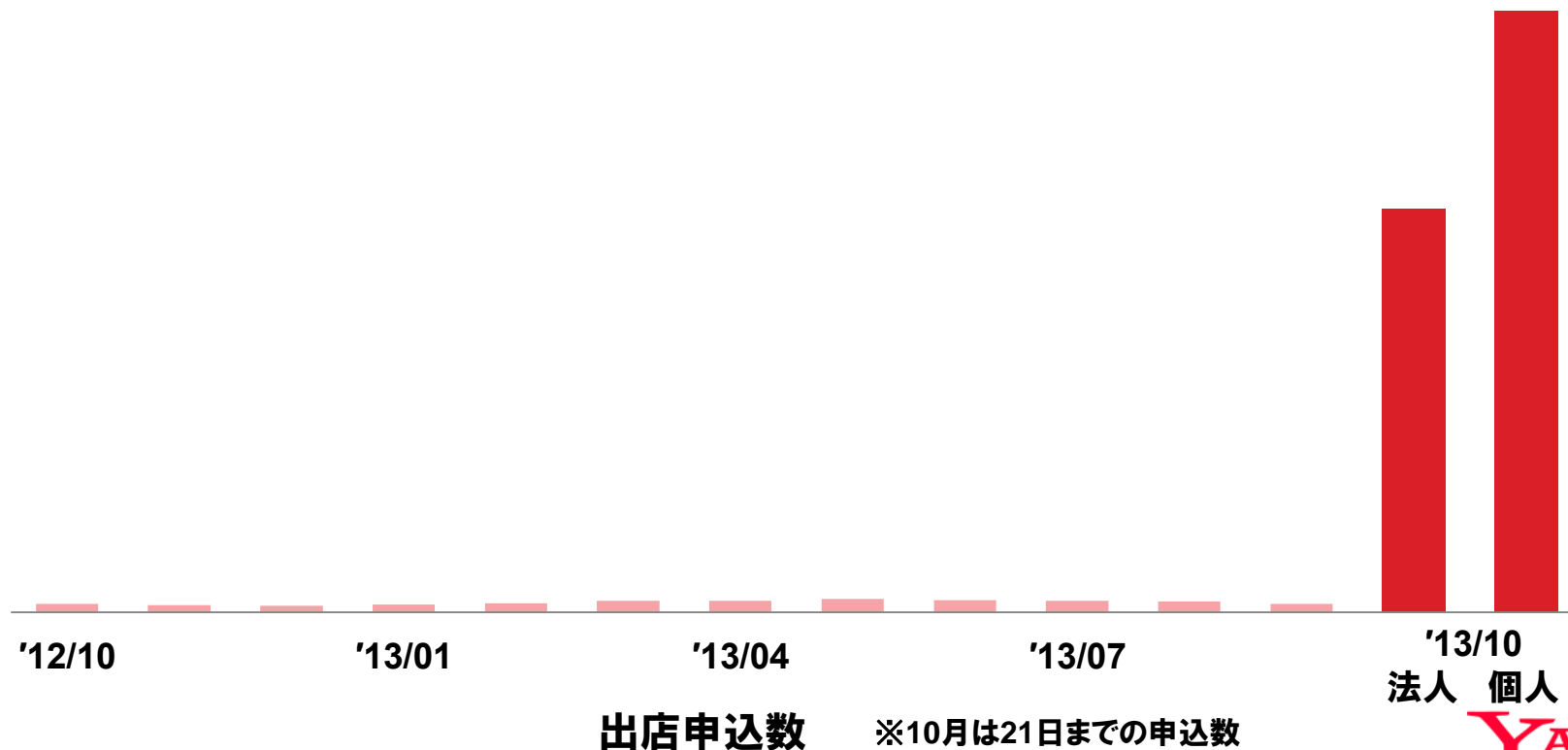
# 売り手の数増加のための施策

	従来	現在
出店資格	法人のみ	<b>法人、個人<sup>※</sup></b>
月額出店料	2.5万円	<b>無料</b>
ロイヤルティ	1.7-6.0%	<b>無料</b>
カード決済手数料	上記に含まれる	<b>業界最低水準</b>
ポイント費用	実費	実費

※ Yahoo!プレミアム会員であることが必須

# 初速は好調

※大手ECモールへの出店経験のある法人は最短2週間で出店可能だが、  
上記以外の法人および個人の受付は12月以降となるため、  
出店数が大きく増加するのは12月末以降の見込み



# 売り手の数増加のスケジュール

10月7日

eコマース新戦略発表

10月下旬

大手ECモール出店経験店舗より  
順次開店

12月以降

個人・新規出店ストア向け  
プラットフォーム提供開始



店舗数・商品数の増加

201X年度  
までに

**国内eコマース流通総額No.1**

# 年末商戦に向けた 買い手の数増加のための施策

- 各種キャンペーンの実施
- Yahoo! JAPANの他サービスからの誘導強化
- 物流の強化
- 店舗主体の販促の実施

# eコマースのバリューチェーンの すべての要素を強化する

**集客**

Yahoo!検索、  
Yahoo!知恵袋等  
からの誘導

**品揃え**

**eコマース  
革命**

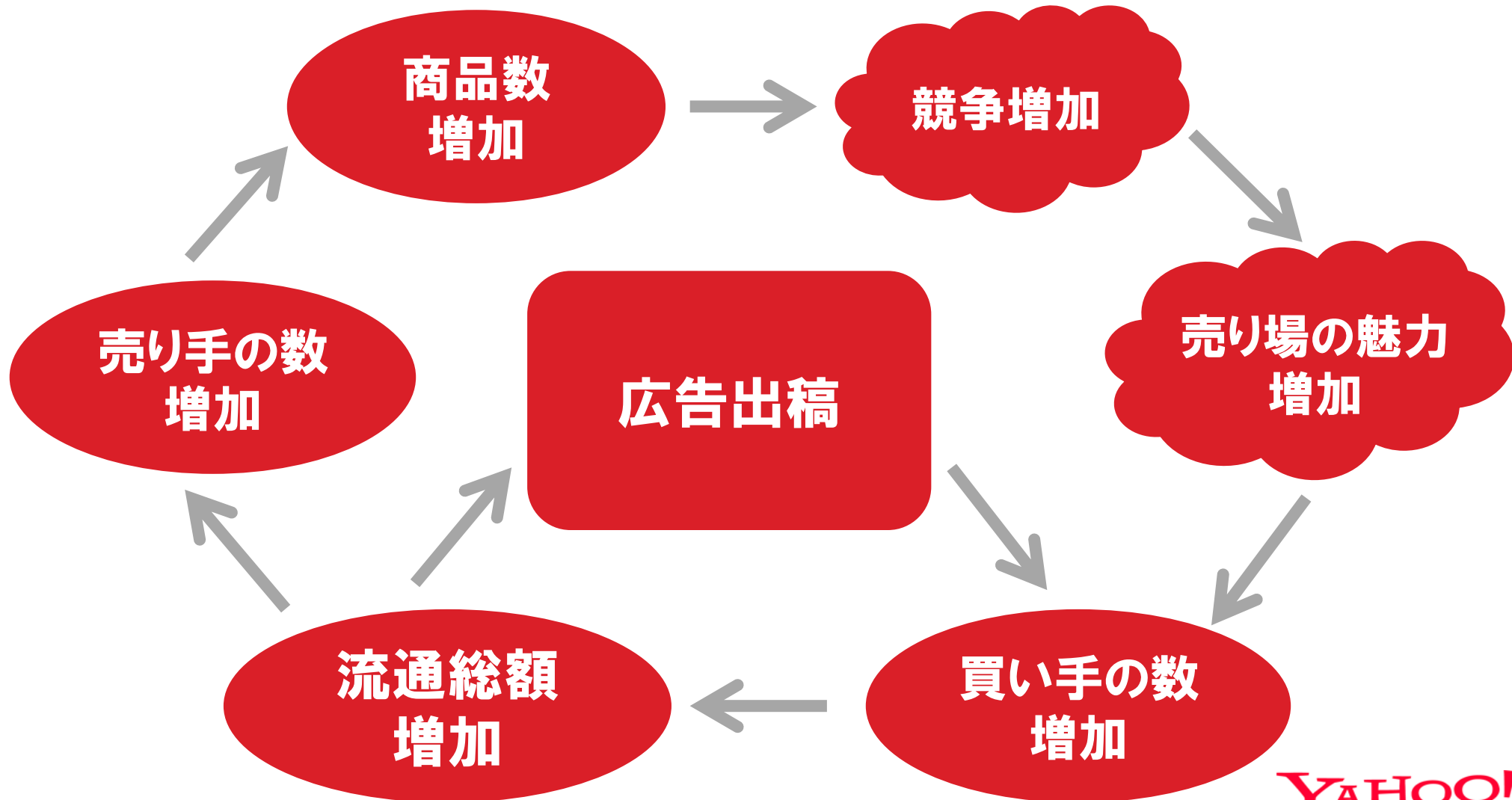
**決済  
ポイント**

Tポイント連携、  
Yahoo!ウォレット・  
Yahoo!カードの強化

**物流**

アスクル(株)との  
連携による強化

# 流通総額を増加させ、 将来的には広告売上高を拡大する



Yahoo!ショッピング

**ヤフオク!**

プレミアム会員



**ヤフオク!**

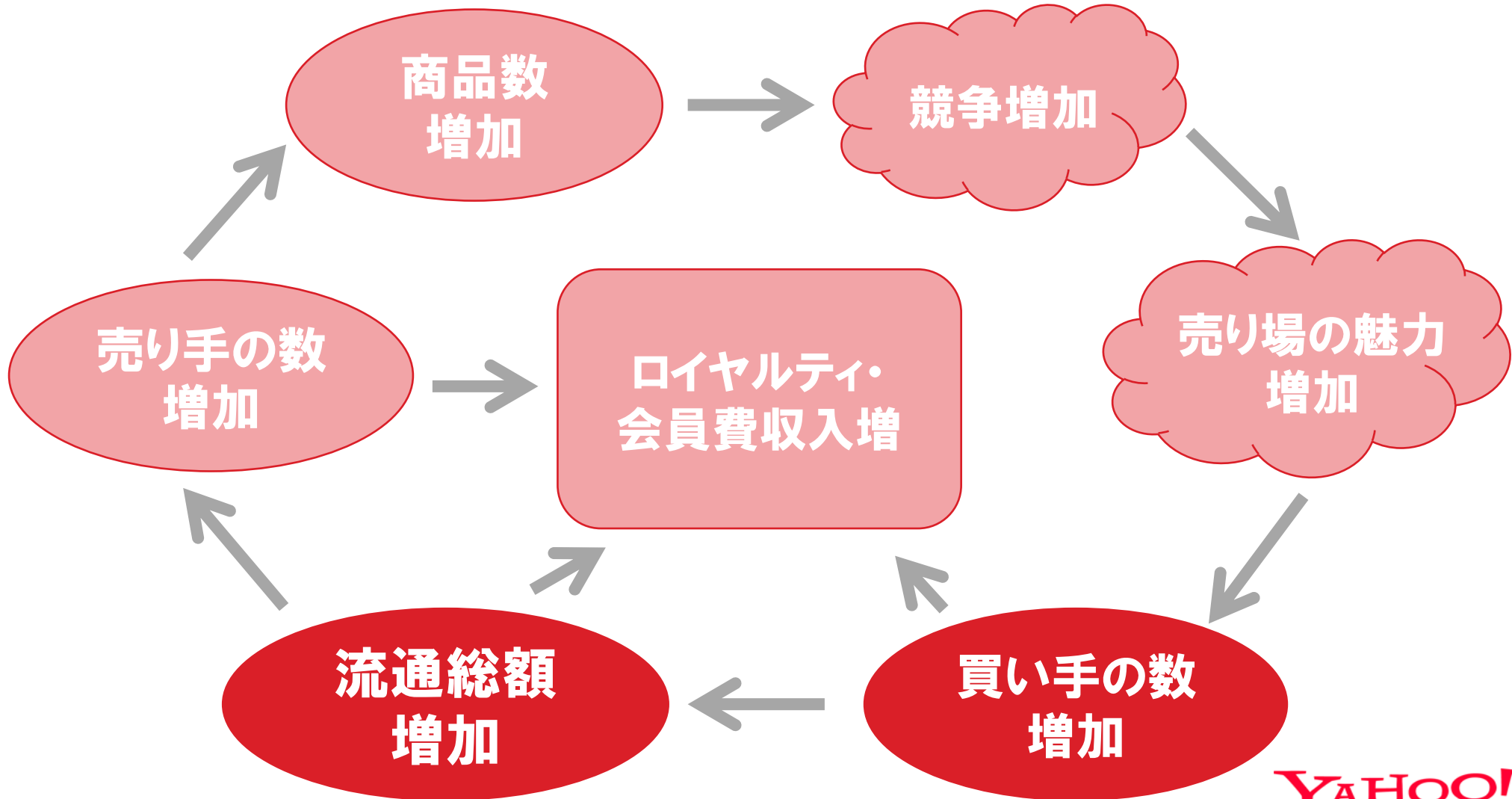


# ビジネスモデルは 引き続き手数料ビジネス

**取扱高を拡大させ、  
ロイヤルティ収入の  
増加を目指す**

# ヤフオク!

## エコシステムのスイッチは買い手から



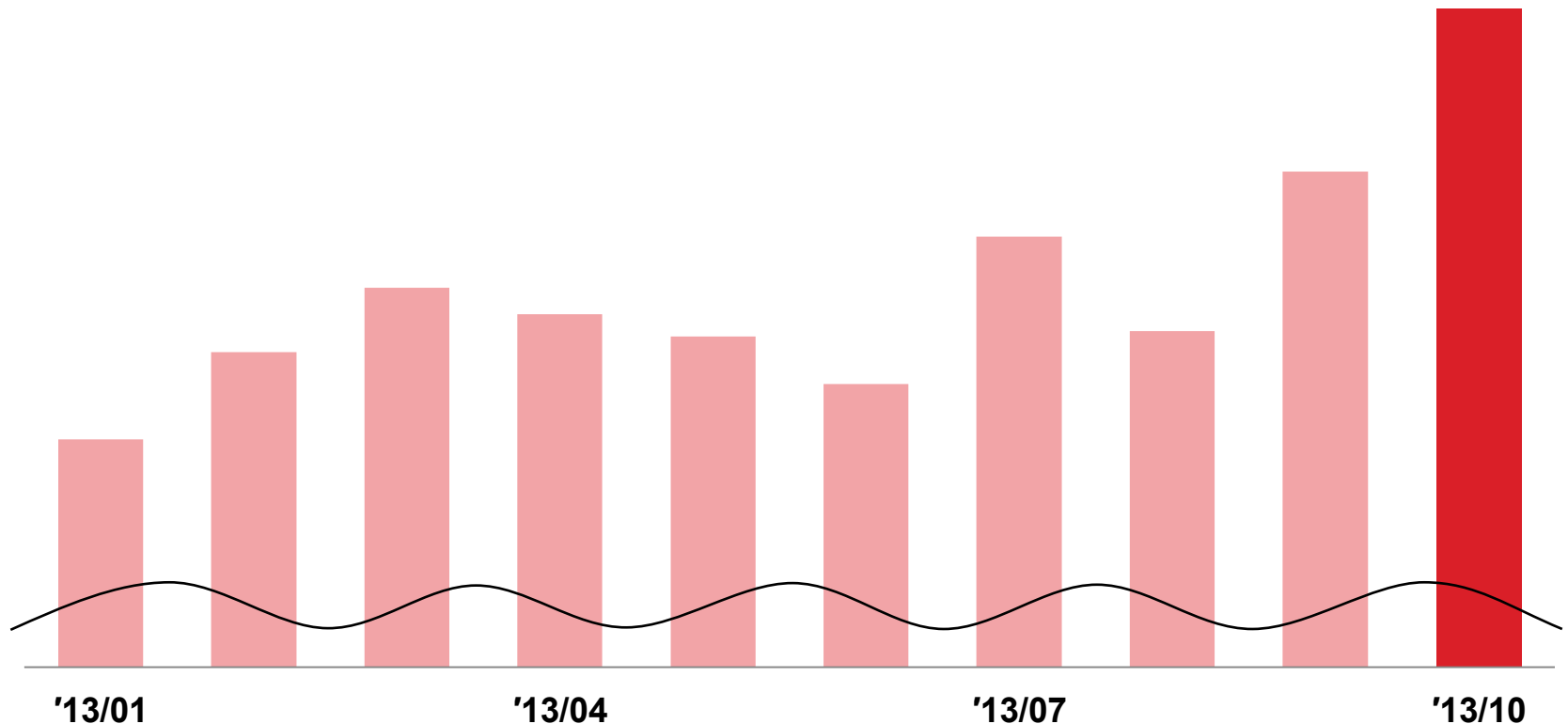
# ヤフオク!

## 買い手(入札)の数増加のための施策

- Yahoo!プレミアム会員のみとしていた  
**5,000円以上の入札特典を開放**
- いたずら、詐欺、違反对策の強化
- Yahoo!プレミアム会員向け補償の充実

# ヤフオク!

- 落札単価が上昇
- 新規入札者数 前年同月比**4割**増加

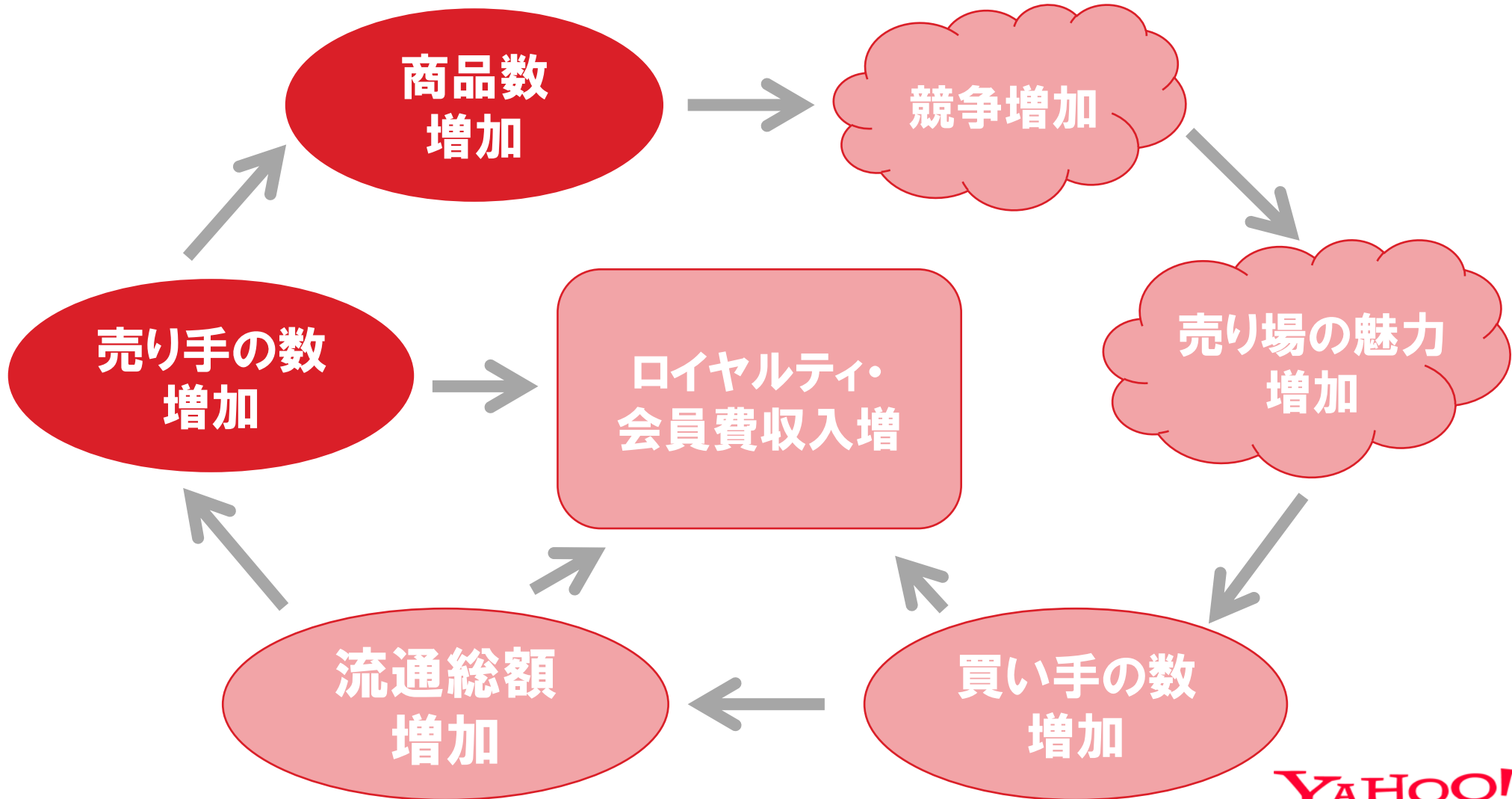


落札単価

※10月は21日までの落札単価、1日あたり新規入札者数

# ヤフオク!

## 売り手の数、商品数を増やす



# ヤフオク!

## 売り手の数、商品数増加のための施策

	従来	現在
B2C出店資格	法人のみ	法人のみ
B2C月額出店料	1.8万円	<b>無料</b>
B2C出品数制限	あり	<b>なし</b>
C2C出品制限	プレミアム会員のみ	プレミアム会員のみ
C2C出品料	1品あたり10円 <sup>※</sup>	<b>無料</b> <sup>※</sup>
ロイヤルティ	5.25% <sup>※</sup>	5.25% <sup>※</sup>

※ 一部カテゴリを除く

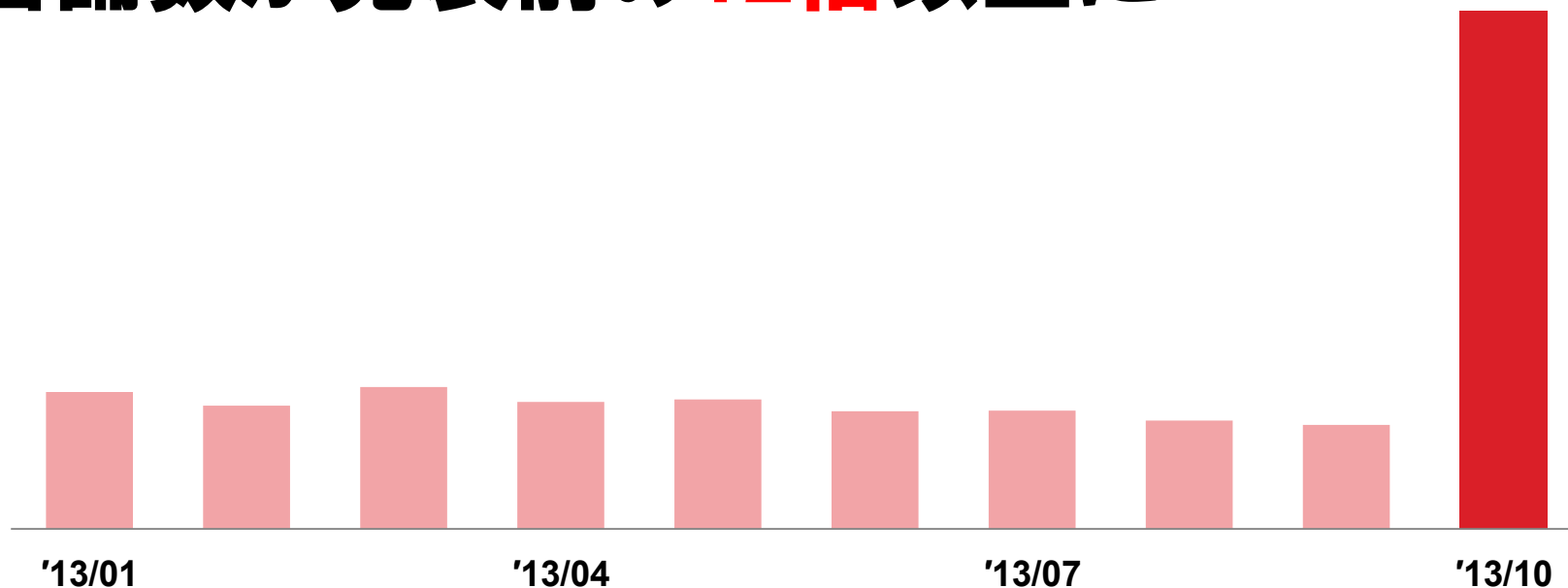
# ヤフオク!

- B2C出店申込数 前年同月比**4倍以上**

※10月21日までの1日あたり申込数

- 3,000点以上を出品する

店舗数が発表前の**12倍以上**に



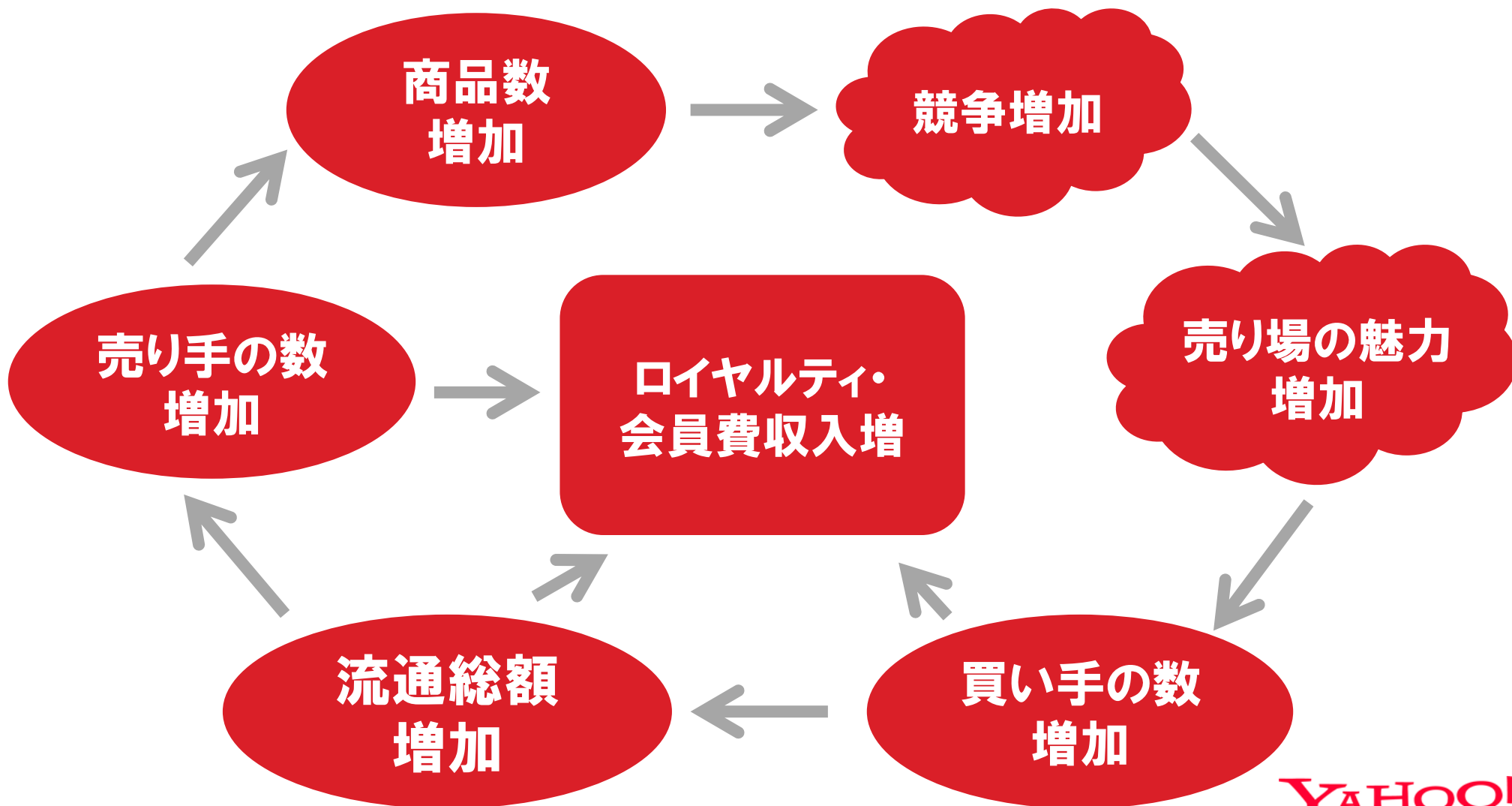
出店申込数

※10月は21日までの申込数



# 流通総額を増加させ、 ロイヤルティ・会員費収入を拡大する

ヤフオク!



Yahoo!ショッピング

ヤフオク!

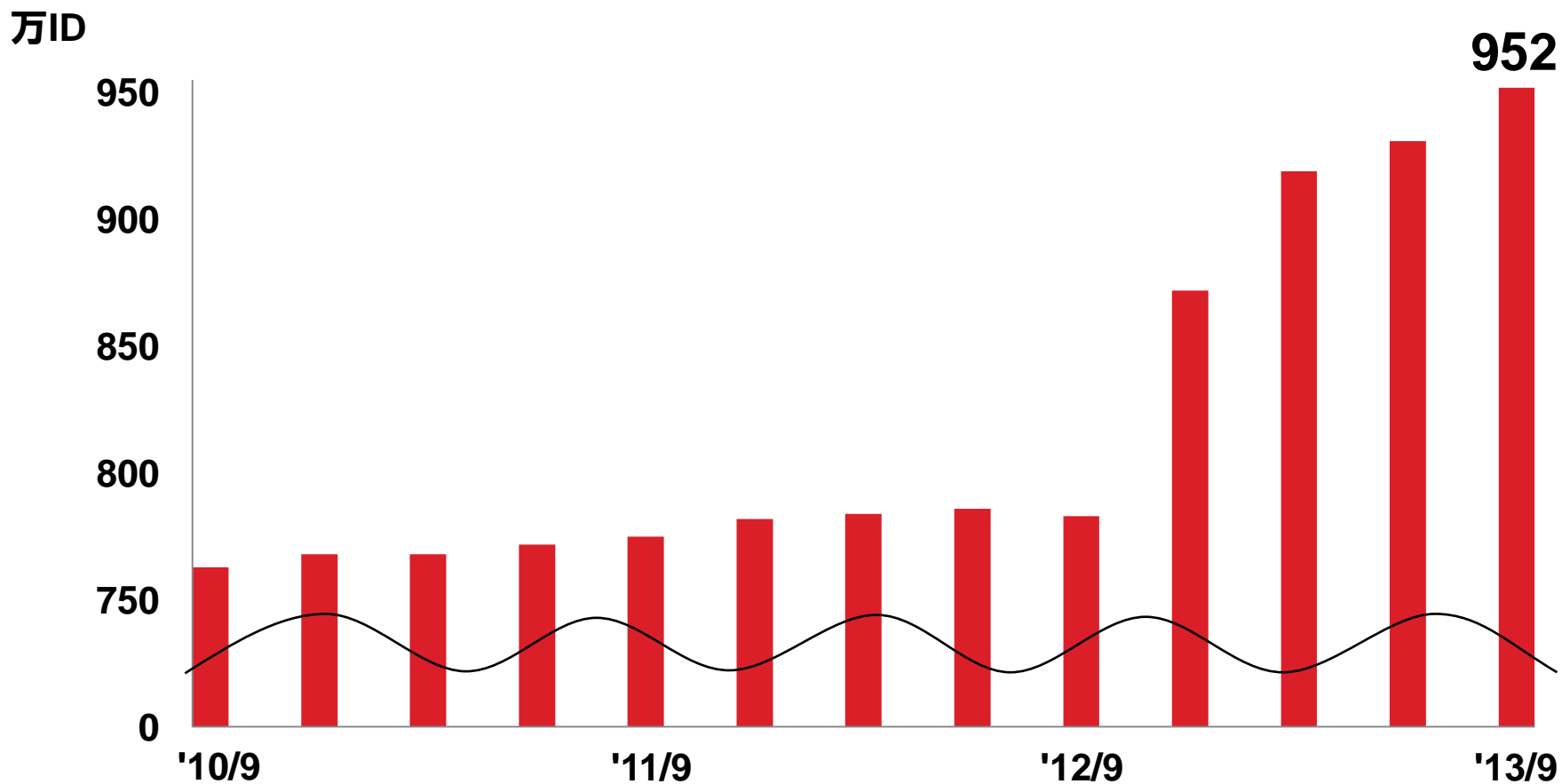
プレミアム会員

# 高額入札特典はなくなるものの、 他の付加価値を高める

	従来	現在
Yahoo!ショッピング出店	個人の出店は不可	Yahoo!プレミアム会員は 出店可能
ヤフオク!C2C出品	要入会	要入会
ヤフオク! 5,000円以上の入札	要入会	入会不要
補償制度	一部あり	強化
ポイント優遇制度	一部あり	強化

# 9月末の会員数は952万ID

- ・ ソフトバンクモバイル経由の登録堅調
- ・ 足元での入札特典開放の影響は想定範囲内



# eコマース事業 今後の方針



# ステップ 1

YAHOO! ショッピング  
JAPAN  
**ヤフオク!**

# 売り手の数 No.1







# ステップ 3



## 201X年度までに

# 流通総額 国内No.1を目指す





# 売上高の減少額は限定的

## 第3、第4四半期における四半期売上高変動見込み

収益項目	前年同四半期比 増減額	増減要因
Yahoo!ショッピング	▲25～30億円	月額出店料・ロイヤルティの無料化
ヤフオク!	▲3～6億円	B2C月額出店料、 C2C出品料の無料化
決済手数料収入	▲2～3億円	業界最低水準への変更
プレミアム会員費収入	+4～6億円	入札制限の開放により10月以降の 入退会者数に影響があるものの、 前年度比では会員数が増加
eコマース広告売上高	影響は軽微	売り場の活性化により出稿意欲が 拡大し、将来的に増加を見込む

※上記は四半期ベースの概算です。

# 2013年度下半期、2014年度通期で 新戦略のために発生する費用見込み

(eコマース関連のプロモーション活動の実施、  
Yahoo!プレミアム会員向けサービスの追加等)

- 2013年度下半期(13年10月～14年3月)

**20～30億円**

- 2014年度通期(14年4月～15年3月)

**40～60億円**

※上記は半期および通期ベースの概算です。

# 一時的に売上高・営業利益等が減少するものの、将来の加速度的成長を目指す

## 第3、第4四半期における eコマース関連四半期売上高・営業利益変動見込み

	前年同四半期比増減額 (eコマース関連のみ)
売上高	25～35億円減少
営業利益	30～50億円減少

※上記は四半期ベースの概算です。

**eコマース市場を拡大し、  
201X年度までに  
流通総額国内No.1  
を目指す**

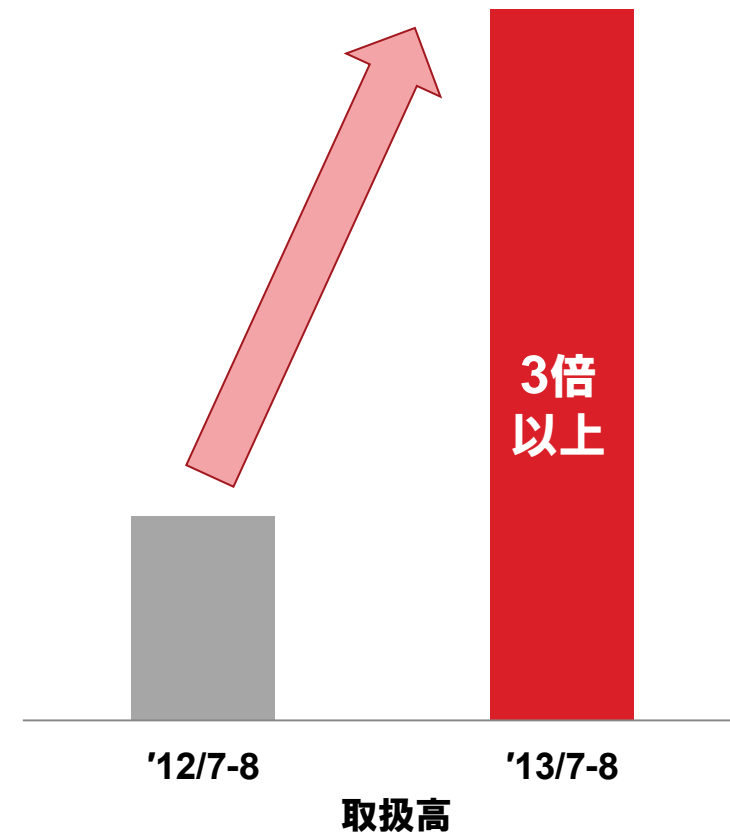
# 決済・金融 その他事業

**「Yahoo!ウォレット」登録数**

**2,500万以上**

## 取扱高が大きく伸長

- 取引毎にTポイントが貯まる  
「トレードプラス」を開始
- 新商品「オプトレ！」  
(バイナリーオプション)  
提供開始



# 四半期業績 補足資料

**P.81 四半期業績**

**P.94 事業データ**

**P.96 組織・人員・関連会社**



# 2013年度第2四半期損益計算書

	2012年度 第2四半期	2013年度 第2四半期	前年同四半期比 増減率
売上高（億円）	787	957	21.5%
売上原価（億円）	79	122	54.6%
売上総利益（億円）	708	834	17.8%
販管費（億円）	275	341	24.1%
営業利益（億円）	432	492	13.7%
経常利益（億円）	439	491	11.7%
四半期純利益（億円）	271	303	11.8%
完全希薄化後EPS（円）*	4.68	5.27	12.7%
完全希薄化後株式数 （百万株）* **	5,801	5,752	-0.9%

\* 10月1日付で普通株式1株を100株に分割する株式分割を実施し、過去分についても遡及して修正しています。

\*\* 完全希薄化後株式数は自己株式を除いています。

# 2013年度第2四半期セグメント別収益内訳

単位:億円

	売上高	主な内訳		売上原価	販管費	営業利益	経常利益	営業利益率	経常利益率
マーケティングソリューション事業	672	広告	518	129	185	357	358	53.2%	53.4%
		ビジネスサービス	115						
		パーソナルサービス	30						
		社内売上	7						
コンシューマ事業	254	広告	8	4	73	175	171	69.1%	67.5%
		ビジネスサービス	61						
		パーソナルサービス	179						
		社内売上	4						
その他	54	広告	0	8	27	18	18	34.9%	33.4%
		ビジネスサービス	14						
		パーソナルサービス	31						
		社内売上	8						
調整額	-24	広告	-2	-19	55	-59	-57	-	-
		ビジネスサービス	-1						
		パーソナルサービス	-						
		社内売上	-20						
総合計	957			122	341	492	491	51.4%	51.3%

# 2013年度第2四半期の各セグメントに含まれる 主な商品項目

## マーケティングソリューション事業

広告	検索連動型広告 ディスプレイ広告(プレミアム広告、興味関心連動型広告)
ビジネスサービス	データセンター関連、アフィリエイト関連、「Yahoo!不動産」、自動車関連、 「Yahoo!トラベル」、「インディバル求人」、「Yahoo!ウェブホスティング」等
パーソナルサービス	有料デジタルコンテンツ、映像関連等

## コンシューマ事業

広告	ディスプレイ広告
ビジネスサービス	「ヤフオク!」「Yahoo!ショッピング」のテナント料・法人向けシステム利用料、 「Yahoo! BB」インセンティブ等
パーソナルサービス	「Yahoo!プレミアム」、「ヤフオク!」個人向けシステム利用料、「Yahoo! BB」ISP料金、 「Yahoo!パートナー」等

## その他

広告	ディスプレイ広告
ビジネスサービス	決済関連、クレジットカード関連等
パーソナルサービス	「Yahoo!ファイナンス」、FX関連、クレジットカード関連、決済関連等

# 2013年度第2四半期販管費推移

単位:億円

## 主な前年同四半期比増減要因

	12/2Q	13/1Q	13/2Q	構成比	前四半期比 増減率	前年 同四半期比 増減率
人件費	89	106	113	33.2%	6.7%	27.2%
業務委託費	33	38	39	11.5%	2.1%	17.4%
販売促進費	25	27	38	11.1%	35.8%	48.8%
ロイヤルティ	22	26	27	8.1%	3.6%	22.4%
減価償却費	23	25	27	8.0%	6.4%	16.0%
情報提供料	16	18	19	5.7%	3.8%	16.4%
賃貸料・水道光熱費	18	17	18	5.5%	4.9%	2.1%
通信費	15	16	15	4.5%	-4.6%	0.3%
販売手数料	11	11	11	3.3%	2.2%	-1.5%
維持管理費	5	6	7	2.1%	1.7%	20.1%
のれん償却額	0	6	6	1.8%	2.8%	608.4%
租税公課	4	4	5	1.5%	16.9%	13.8%
ライセンス料	1	2	3	1.0%	14.1%	140.7%
広告宣伝費	2	5	2	0.8%	-56.0%	2.1%
その他	3	4	6	1.9%	51.0%	71.8%
販管費合計	275	319	341	100.0%	6.9%	24.1%

従業員数は6,191名となり、716名(13.1%)増加

サービス等の運営委託費および決済手数料の増加

プロモーション費用およびポイント費用の増加

売上高の増加

(株)サイバーエージェントFXの株式取得による無形固定資産の増加

(株)サイバーエージェントFXの株式取得

# 2013年度第2四半期貸借対照表

主な科目	2012年9月末	2013年9月末	増減	主な増減要因	単位:億円
<b>&lt;資産の部&gt;</b>					
流動資産	4,463	6,170	1,707	営業活動による資金の増加およびBBモバイル(株)株式の売却にかかわる未収入金の回収	
現金及び預金	2,561	4,482	1,920		
売掛金	455	536	81	BBモバイル(株)株式の売却にかかわる未収入金の回収	
未収入金	1,213	23	-1,189		
外国為替取引顧客預託金	-	734	734	(株)サイバーエージェントFXの連結子会社化	
固定資産	1,454	1,684	230	(株)サイバーエージェントFXの連結子会社化	
有形固定資産	375	447	72		
無形固定資産	142	293	150		
投資有価証券	779	807	28		
資産の部合計	5,917	7,855	1,937		
<b>&lt;負債の部&gt;</b>					
流動負債	879	1,922	1,043	(株)サイバーエージェントFXの連結子会社化	
未払金	148	189	41		
未払法人税等	332	391	58		
外国為替取引顧客預り証拠金	-	826	826		
固定負債	28	29	1		
負債の部合計	907	1,952	1,044		
<b>&lt;純資産の部&gt;</b>					
株主資本	4,960	5,789	828	純利益の計上	
資本金	80	82	1		
資本剰余金	31	32	1		
利益剰余金	4,905	5,677	772		
その他の包括利益累計額	17	33	15		
少数株主持分	24	73	49		
純資産の部合計	5,010	5,902	892		
負債純資産合計	5,917	7,855	1,937		

# 2013年度第2四半期キャッシュ・フロー

主な項目	2013年7-9月	主な増減要因	単位:億円
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>566</b>		
税金等調整前四半期純利益	487	税引前四半期純利益の計上	
減価償却費	34		
のれん償却額	6		
ポイント引当金の増加額	-9		
売上債権・仕入債務	-1		
その他流動資産・負債	35		
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>-502</b>		
定期預金の増減	-458	定期預金の預入れ等	
有形固定資産の取得	-19	データセンターの建設等	
無形固定資産の取得	-6		
子会社株式の取得	-20	オセニック(株)の株式取得等	
利息及び配当金の受取額	5		
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>2</b>		
<b>キャッシュ・フロー増減額</b>	<b>66</b>		

# 2013年度第2四半期 マーケティングソリューション事業①

## ■ 検索連動型広告

(検索連動型広告「スポンサードサーチ」)

- 検索連動型広告の売上高が前年同四半期比で12.3%増加。
- スマートフォン経由の広告売上高が、前年同四半期比で大きく伸長。

## ■ ディスプレイ広告

(プレミアム広告・興味関心連動型広告「Yahoo!ディスプレイアドネットワーク」(YDN))

- 興味関心連動型広告の売上高が前年同四半期比で大きく拡大。
- 「ブランドパネル」において、「トップインパクト」などブランディング効果の高い広告商品の売上高が伸長した。
- その結果、ディスプレイ広告全体の売上高が前年同四半期比で27.4%増加。

単位:億円

マーケティングソリューション事業	2012年度 第2四半期	2013年度 第2四半期	前年同四半期比 増減率
売上高	547	672	22.9%
営業利益	302	357	18.2%

# 2013年度第2四半期 マーケティングソリューション事業②

## ■ ビジネスサービス

- バリューコマース(株)、(株)カービューの連結子会社化により、売上高が前年同四半期比で拡大。
- (株)IDCフロンティアにおいて、ゲーム関連企業によるクラウドコンピューティングサービスの利用増加に伴い、売上高が前年同四半期比で拡大。
- 「Yahoo!不動産」の売上高が前年同四半期比で伸長。
- 求人関連事業においては、2012年12月に(株)リクルートホールディングスとの契約が解除となったため、(株)インディバルを中心に事業を展開。売上高が前年同四半期比で減少。

## ■ パーソナルサービス

- ゲーム関連事業においては、グリー(株)との業務提携に加え、「Yahoo! Mobage」等が好調に推移し、売上高が前年同四半期比で大幅に拡大。



# 2013年度第2四半期 コンシューマ事業

## ■ ビジネスサービス

- 「Yahoo!ショッピング」の取扱高は前年同四半期比でわずかに減少したものの、スマートフォン経由取扱高は前年同四半期比で増加した。
- 「ヤフオク!」は高単価商品の需要の取り込み、スマートフォンアプリの改善等が寄与し、B2C、C2C共に前年同四半期比の取扱高成長率が2013年度第1四半期よりも拡大した。

## ■ パーソナルサービス

- 「Yahoo!プレミアム」において、2012年10月の料金改定およびソフトバンクショップでのYahoo!プレミアム会員登録受付開始に伴い、前年同四半期比で売上高が拡大。2013年9月末のプレミアム会員ID数は952万IDとなった。

単位:億円

コンシューマ事業	2012年度 第2四半期	2013年度 第2四半期	前年同四半期比 増減率
売上高	232	254	9.6%
営業利益	175	175	-0.1%

**YAHOO!**  
JAPAN

# 主な広告商品

広告商品 (主な用途)		主な フォーマット	課金 システム	掲載場所	広告主 タイプ
検索連動型広告 「スポンサードサーチ」 (販売促進)		テキスト	クリック課金型	検索結果ページ	大手・ 中小企業
ディスプレイ 広告	興味関心連動型広告 「Yahoo!ディスプレイ アドネットワーク」(YDN) (販売促進)	テキスト・ 画像	入札方式	トップページ	
	プレミアム広告 (ブランド価値向上)	画像	インプレッション 保証型 前払方式	コンテンツページ	大手企業

# 検索連動型広告売上高の業界別シェア

## 広告売上高の増加額(前年同四半期比)が大きかった業界

- 交通・レジャー
- 金融・保険・証券(含消費者金融)
- 情報処理サービス・ソフト会社、インターネット情報サービス

## 広告売上高の減少額(前年同四半期比)が大きかった業界

- ファッション・アクセサリ

	12/2Q	3Q	4Q	13/1Q	2Q
交通・レジャー	11.4%	9.4%	9.8%	11.1%	12.3%
金融・保険・証券(含消費者金融)	8.8%	8.8%	10.0%	10.1%	9.1%
百貨店、通販、ショッピングモール	7.7%	9.3%	7.8%	7.4%	7.4%
不動産・住宅・住宅設備	7.3%	6.7%	8.2%	6.6%	6.7%
医療、福祉/美容、健康サービス	6.7%	5.8%	5.5%	6.3%	6.1%
化粧品、生活用品、健康食品、健康器具	6.1%	5.8%	5.3%	6.4%	6.0%
各種人材サービス	5.5%	5.3%	5.0%	5.1%	5.1%
各種教育サービス・大学等	5.2%	4.8%	5.4%	5.0%	4.7%
ファッション・アクセサリ	5.3%	5.3%	4.2%	4.6%	4.5%
情報処理サービス・ソフト会社、インターネット情報サービス	3.3%	4.0%	3.6%	3.8%	4.2%
インテリア、ガーデニング、リフォーム、DIY用品	3.5%	3.6%	3.4%	3.9%	3.6%
自動車・関連品(輸送用機器)	3.0%	3.0%	3.4%	2.8%	2.8%
その他	26.2%	28.2%	28.4%	26.9%	27.5%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

# プレミアム広告売上高の業界別シェア

## 広告売上高の増加額(前年同四半期比)が大きかった業界

- 官公庁・団体
- エンターテインメント系ソフト
- ファッション・アクセサリ

## 広告売上高の減少額(前年同四半期比)が大きかった業界

- 化粧品・トイレタリー
- 交通・レジャー
- 移動体通信サービス

	12/2Q	3Q	4Q	13/1Q	2Q
不動産・建設	11.5%	9.7%	11.1%	11.2%	11.2%
自動車・関連品(輸送用機器)	10.3%	10.5%	10.0%	9.4%	10.7%
金融・保険・証券(含消費者金融)	9.9%	10.7%	10.2%	10.3%	10.3%
交通・レジャー	10.8%	10.4%	10.9%	8.3%	10.2%
化粧品・トイレタリー	11.7%	8.2%	6.8%	10.1%	8.6%
食品	8.5%	8.4%	7.5%	10.9%	8.3%
移動体通信サービス	5.5%	5.0%	11.0%	3.4%	4.7%
ファッション・アクセサリ	3.7%	6.9%	4.2%	5.1%	4.5%
飲料・嗜好品	3.8%	3.1%	3.4%	6.3%	3.8%
官公庁・団体	1.0%	3.4%	2.2%	1.6%	2.9%
エンターテインメント系ソフト	1.1%	1.1%	1.6%	1.4%	2.6%
放送	2.4%	2.4%	2.3%	2.7%	2.4%
その他	19.8%	20.2%	18.8%	19.3%	19.8%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

# YDN等売上高の業界別シェア

広告売上高の増加額(前年同四半期比)が大きかった業界

- 金融・保険・証券(含消費者金融)
- 化粧品、生活用品、健康食品、健康器具
- 不動産・住宅・住宅設備

	12/2Q	3Q	4Q	13/1Q	2Q
金融・保険・証券(含消費者金融)	23.1%	28.5%	29.0%	29.4%	23.0%
化粧品、生活用品、健康食品、健康器具	16.2%	16.6%	17.5%	21.1%	18.2%
不動産・住宅・住宅設備	5.8%	6.1%	7.5%	6.0%	8.4%
各種人材サービス	3.4%	3.3%	4.1%	4.2%	6.1%
各種教育サービス・大学等	3.7%	3.0%	3.7%	3.4%	5.2%
医療、福祉/美容、健康サービス	3.7%	4.1%	4.3%	4.4%	4.5%
交通・レジャー	6.6%	4.0%	4.5%	4.0%	4.4%
情報処理サービス・ソフト会社、インターネット情報サービス	2.6%	2.9%	3.3%	3.9%	3.8%
自動車・関連品(輸送用機器)	3.1%	2.9%	3.6%	2.3%	2.9%
結婚、恋愛、冠婚葬祭サービス	1.8%	2.1%	1.6%	1.9%	2.4%
本、CD、DVD、チケット	1.1%	1.2%	2.3%	1.5%	1.8%
ファッション・アクセサリ	2.0%	1.9%	1.7%	1.5%	1.6%
その他	26.9%	23.4%	16.9%	16.4%	17.7%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

一部売上高は業種分類されていません。

# 四半期事業データ ①

項目（四半期期中平均）	2012年7-9月	2013年7-9月
月間総ページビュー数（百万PV）	53,358	55,618
スマートフォン月間ページビュー数（百万PV）（1）	9,351	16,153
Daily UB（1日あたりユニークブラウザ）数（百万ブラウザ）（2）	53.09	61.04
スマートフォンDaily UB数（百万ブラウザ）（1）（2）	15.63	25.34
月間アクティブユーザーID数（百万ID）（3）	26.41	27.54
Yahoo!プレミアム会員ID数（四半期末）（百万ID）	7.83	9.52

(1) スマートフォン月間ページビュー数・Daily UB数には、iPhone/iPod、Androidスマートフォン（画面サイズ7インチ未満）、WindowsPhoneを通じて閲覧されたページビュー・ブラウザが含まれ、iPad、Androidタブレット等を通じて閲覧されたページビュー・ブラウザは含まれていません。

また、アプリを通じたアクセスの一部は含まれていません。

(2) Yahoo! JAPANサービスを閲覧するために利用されたブラウザ数。スマートフォンにおいてブラウザとアプリの両方を通じて閲覧した場合には重複カウントとなります。

(3) 各月中にログインしたYahoo! JAPAN ID数。

## 四半期事業データ ②

項目（四半期合計）	2012年7-9月	2013年7-9月
「ヤフオク!」取扱高（億円）	1,569	1,651
ショッピング関連取扱高（億円）	745	737
「ヤフオク!」+ショッピング関連取扱高（億円）	2,315	2,388
スマートフォン経由 「ヤフオク!」+ショッピング関連取扱高（億円）	450	640
eコマース取扱高（億円）*	3,751	3,937

\*「ヤフオク!」、ショッピング関連、「Yahoo!ウォレット」、「Yahoo!カード」、有料デジタルコンテンツ等を含んでいます。FX事業の取扱高は含まれていません。

# 組織図(単体ベース)



- CEO = Chief Executive Officer
- COO = Chief Operating Officer
- CFO = Chief Financial Officer
- CMO = Chief Mobile Officer
- CSO(\*) = Chief Strategy Officer
- CSO(\*\*) = Chief Security Officer
- CTO = Chief Technology Officer

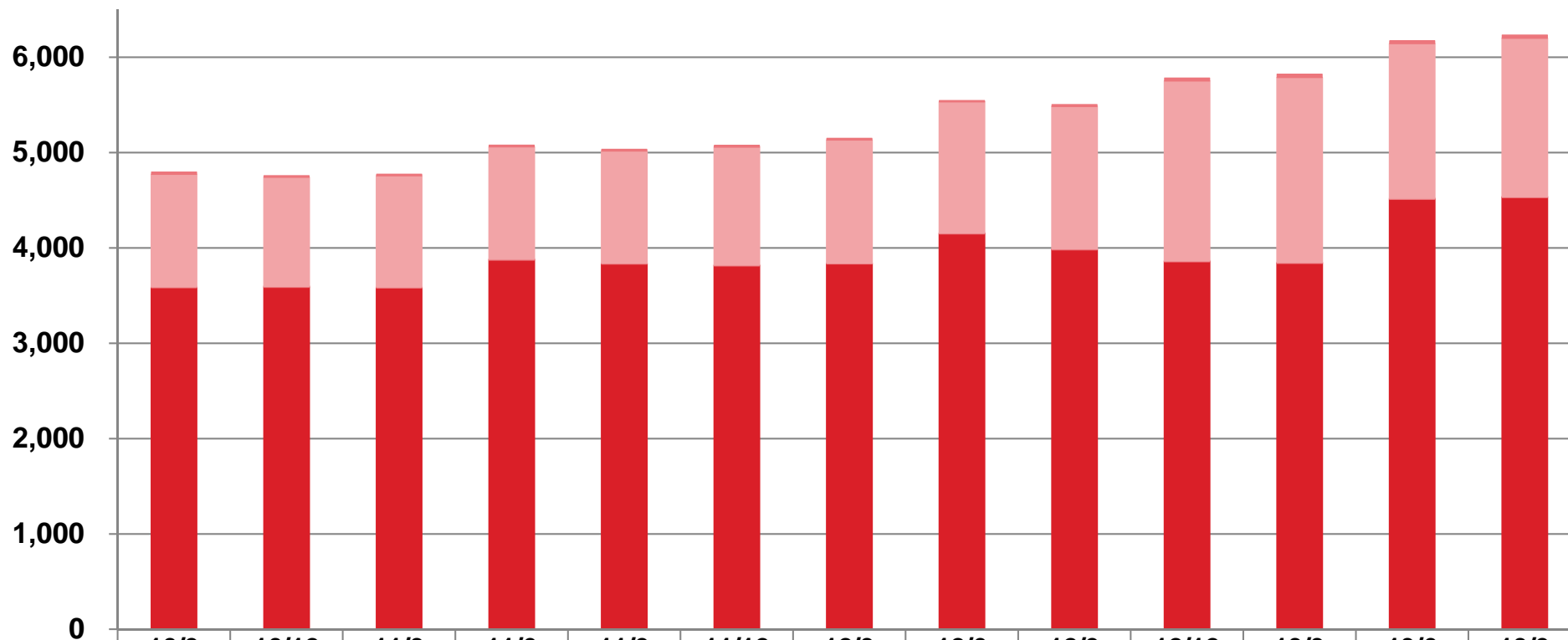




# 役員数推移

(四半期末人員数)

単位:人



\*上記の従業員数は出向者を含んでいます。

# 主な連結子会社および持分法適用会社一覧

(2013年9月末時点)

## ● 当四半期末の主な連結子会社

- ◆ (株)IDCフロンティア
- ◆ オセニック(株) **NEW!**
- ◆ (株)GyaO
- ◆ (株)コミュニティファクトリー
- ◆ (株)ネットラスト
- ◆ ファーストサーバ(株)
- ◆ YJキャピタル(株)
- ◆ ワイズ・スポーツ(株)
- ◆ (株)インディバル
- ◆ (株)カービュー
- ◆ (株)クロコス
- ◆ (株)サイバーエージェントFX
- ◆ バリューコマース(株)
- ◆ ヤフーカスタマーリレーションズ(株)
- ◆ ワイズ・インシュアランス(株)

## ● 当四半期末の主な持分法適用会社

- ◆ アスクル(株)
- ◆ (株)カカオジャパン
- ◆ CRITEO(株)
- ◆ ジクシーズ(株)
- ◆ (株)たびゲーター
- ◆ (株)マクロミル
- ◆ (株)アニマティック
- ◆ (株)クラシファイド
- ◆ JWord(株)
- ◆ (株)スマートキッチン
- ◆ フォートラベル(株)



**当グループのIR情報は、以下のURLをご参照ください。**  
**<http://ir.yahoo.co.jp/>**